

業 績 集

2020 年度あゆみ業績

神経

1. 論文

1. Sakai S, Nagamitsu S, Koga H, Kanda H, Okamatsu Y, Yamagata Z, Yamashita Y : Characteristics of socially high-risk pregnant women and children's outcomes. *Pediatr Int.* 2020 Feb;62(2):140-145. doi: 10.1111/ped.14058. Epub 2020 Jan 30.
2. Shimomura G, Nagamitsu S, Suda M, Ishii R, Yuge K, Matsuoka M, Shimomura K, Matsuishi T, Kurokawa M, Yamagata Z, Yamashita Y. Association between problematic behaviors and individual/environmental factors in difficult children. *Brain Dev.* 2020 Jun;42(6):431-437.
3. Yuge K, Nagamitsu S, Ishikawa Y, Hamada I, Takahashi H, Sugioka H, Yotsuya O, Mishima K, Hayashi M, Yamashita Y. Long-term melatonin treatment for the sleep problems and aberrant behaviors of children with neurodevelopmental disorders. *BMC Psychiatry.* 2020 Sep 10;20(1):445.
4. Suda M, Nagamitsu S, Obara H, Shimomura G, Ishii R, Yuge K, Shimomura K, Kurokawa M, Matsuishi T, Yamagata Z, Kakuma T, Yamashita Y. Association between children's sleep habits and problematic behaviors at age 5. *Pediatr Int.* 2020 Oct;62(10):1189-1196.
5. Nagamitsu S, Mimaki M, Koyanagi K, Tokita N, Kobayashi Y, Hattori R, Ishii R, Matsuoka M, Yamashita Y, Yamagata Z, Igarashi T, Croarkin PE. Prevalence and associated factors of suicidality in Japanese adolescents: results from a population-based questionnaire survey. *BMC Pediatr.* 2020 Oct 6;20(1):467.
6. Saikusa T, Kawaguchi M, Tanioka Tetsu T T, Nabatame Shin N S, Takahashi S, Yuge K, Nagamitsu SI, Takahashi T, Yamashita Y, Kobayashi Y, Hirayama C, Kakuma T, Matsuishi T, Itoh M. Meaningful word acquisition is associated with walking ability over 10 years in Rett syndrome. *Brain Dev.* 2020 Nov;42(10):705-712.
7. Habukawa C, Nagamitsu S, Koyanagi K, Nishikii Y, Yanagimoto Y, Seiji Y, Suzuki Y, Go S, Murakami K. Utility of the QTA30 in a school medical checkup for adolescent students. *Pediatr Int.* 2020 Nov;62(11):1282-1288.
8. Habukawa C, Nagamitsu S, Koyanagi K, Nishikii Y, Yanagimoto Y, Seiji Y, Suzuki Y, Go S, Murakami K. Late bedtime reflects QTA30 anxiety symptoms in adolescents in a school checkup. *Pediatr Int.* 2020 Nov 20.
9. Saito T, Yamashita Y, Tomoda A, Okada T, Umeuchi H, Iwamori S, Shinoda S, Mizuno-Yasuhira A, Urano H, Nishino I, Saito K. Using the drug repositioning approach to develop a novel therapy, tipepidine hibenazate sustained-release tablet (TS-141), for children and adolescents with attention-deficit/hyperactivity disorder. *BMC Psychiatry.* 2020 Nov 10;20(1):530. doi: 10.1186/s12888-020-02932-2.
10. Oka Y, Hamada M, Nakazawa Y, Muramatsu H, Okuno Y, Higasa K, Shimada M, Takeshima H, Hanada K, Hirano T, Kawakita T, Sakaguchi H, Ichimura T, Ozono S, Yuge K, Watanabe Y, Kotani Y, Yamane M, Kasugai Y, Tanaka M, Suganami T, Nakada S, Mitsutake N, Hara Y, Kato K, Mizuno S, Miyake N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kito S, Isoyama K, Onodera M, Kaneko H, Matsumoto N, Matsuda F, Matsuo K, Takahashi Y, Mashimo T, Kojima S, Ogi T. Digenic mutations in *ALDH2* and *ADH5* impair formaldehyde clearance and cause a multisystem disorder, AMeD syndrome. *Sci Adv.* 2020 Dec;18;6(51):eabd7197.
11. 北洋輔, 白川由佳, 鈴木浩太, 江頭優佳, 加賀佳美, 北村柚葵, 西村悠貴, 山下裕史朗, 稲垣真澄 : 注意欠如多動症児の協調運動機能が行為選択に及ぼす影響. *脳と発達* 2020 ; 52 (1) : 5-10. (査読あり)

12. 山下裕史朗, 多田泰裕, 穴井千鶴, 弓削康太郎, 家村明子, 岡村尚昌, 永光信一郎, 向笠章子, 江上千代美, 稲垣真澄: サマートリートメントプログラムの多面的有効性: ADHD児とASD併存 ADHD児へのくるめ STP治療効果の検討. 認知神経科学 2020; 22 (1): 26-33 (査読あり)

2. 著書

1. 永光信一郎, 小出馨子, 松本英夫, テーマ4「調査研究やカウンセリング体制の充実・ガイドラインの作成等」特集 知っていますか? 健やか親子21 (第2次), 小児内科, 2020,52(5):648-651
2. 永光信一郎. 産婦人科、小児科医、精神科医、心療内科医のための親子の心の診療マップ. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究班」2020.3
3. 永光信一郎. 親子の心の診療に関する多職種連携マニュアル. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」2020.3
4. 永光信一郎. ティーンズ健診 思春期の子どもへの健康指導マニュアル. 令和元年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」2020.3

3. 講演

—会長講演—

1. 永光信一郎. 思春期健診とCBTアプリによる思春期ヘルスプロモーション 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.11 (久留米Web)
2. 山下裕史朗. ADHDのSummer Treatment Program: 15年間の実践から学んだ子育て支援のコツ. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.5 (久留米Web)

—特別講演—

1. 山下裕史朗. 発達障害のある子どもと楽しさを共有できる診療をめざして 第56回北九州地区小児科医会定期総会 2020.1.19 (小倉)

—特別講演— (座長)

1. 山下裕史朗: 子宮頸がんワクチン 現場からの啓発. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.6 (久留米Web)

—市民公開講演— (座長)

1. 山下裕史朗: 妊娠・出産から思春期まで切れ目のない子育て支援を実現しましょう! 久留米市子ども未来部 こども子育てサポートセンターの実践. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.6 (久留米Web)

—シンポジウム— (座長)

1. 山下裕史朗: 小児保健の歴史をもとに子育て支援を考える. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.6 (久留米Web)
2. 山下裕史朗: ネウボラに学ぶ切れ目のない子育て支援—子ども・家庭の地域包括ケア. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.6 (久留米Web)
3. 永光信一郎: 周産期メンタルヘルス. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.5 (久留米Web)

—セミナー— (講演)

1. 永光信一郎. 36回小児保健セミナー 近年特に気になる健康課題 —どのように対応するかネット依存、心身症、不登校—子どもの心の不調に家庭・学校・かかりつけ医はどのように向き合うべきか 2020.11.15

11：10-12：10（Web講演）

教育セミナー

1. 山下裕史朗. ADHDの適正診断と初期対応. 第123回日本小児科学会 2020.8.23（神戸Web）

ADHDの診療講座

1. 山下裕史朗. 注意欠如多動症（ADHD）児・者の診療：楽しみと悩み. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.13（久留米Web）

モーニングセミナー

1. 永光信一郎. 起立くんとともに成長しよう！ 2020プロジェクト 2020.9.12（久留米Web）

研究委員会報告

1. 永光信一郎. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.11（久留米Web）

-1. 国際学会

1. Nagamitsu S, Horikoshi M, Sakashita K, Sakuta R, Okada A, Matsuura K, Kakuma T, Yamashita Y. Effectiveness of health promotion interventions for adolescents using healthcare visits and a smartphone cognitive behavior therapy application: A randomized controlled trial. American Academy of Child and Adolescent Psychiatry (AACAP)'s 67th Annual Meeting 2020.10.19（San Francisco Web）

-2. 国内学会

1. 永光信一郎, 江崎光世, 末田遼, 石井隆大, 酒井さやか, 山下大輔, 阪下和美, 岡田あゆみ, 北島翼, 作田亮一, 山下裕史朗. 思春期ヘルスプロモーションスケールの標準化研究. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.23（神戸Web）
2. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 山下裕史朗. 当院でのカルニチン測定の実態報告. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.23（神戸Web）
3. 弓削康太郎, デヴェロー斎恵, 飛田公理, 山下裕史朗. 粗大運動機能に制限がある進行SMA患者に対するヌシネルセンの有効性評価方法の検討. 第62回日本小児神経学会学術集会 2020.9.1～9.30（オンデマンド配信）
4. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 当院でのParampanelの使用経験. 第62回日本小児神経学会学術集会 2020.9.1～9.30（オンデマンド配信）
5. 永光信一郎, 松岡美智子, 石井隆大, 山下裕史朗. 親子の心の診療を支える親子向けアプリ政策に関する研究～子どもと親のためのヒーロー図鑑 心を支えてくれるヒーローたち～. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12（久留米Web）
6. 松岡美智子, 石井隆大, 永光信一郎. 精神疾患患者の子ども支援としての心理教育ツールの作成に関する研究と、研究を始める契機となった症例. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12（久留米Web）
7. 石井隆大, 永光信一郎, 山下大輔, 山下裕史朗. 治療に難渋した摂食障害の1例 知的障害を合併した小学校低学年の摂食障害. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12（久留米Web）
8. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 子どもの睡眠障害予防教育アプリケーション：ぐっすり・わーきんぐを用いたパイロット研究. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12（久留米Web）
9. 山下大輔, 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 相撲クラブへの拒否感から摂食障害に陥った1例. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12（久留米Web）

10. 土生川千珠, 永光信一郎, 小柳憲司, 綿井友美, 柳本嘉時, 吉田誠司, 鈴木雄一, 呉宗憲, 村上佳津美: 思春期の学校健診～大人が知らない 子どもの心とからだ～. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
 11. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 発達障害の要支援度評価尺度の当院における実状と課題. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
 12. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 親子で取り組む睡眠障害予防・教育介入アプリの試み. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
 13. 多田奏裕, 岡村尚昌, 向笠章子, 山下裕史朗. ADHD児とASD併存児のくるめSTPによる効果の検討. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
 14. 江上千代美, 塩田昇, 石橋美穂, 田中美智子, 山下裕史朗. 地域で生活する保護者の養育レジリエンスと子育てとの関係. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
 15. 本田由布子, 多田奏裕, 岡村尚昌, 向笠章子, 山下裕史朗. くるめサマー・トリートメント・プログラム(STP) 15年の実践と効果. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
 16. 塩田昇, 江上千代美, 石橋美穂, 田中美智子, 山下裕史朗. 定型発達児・発達障がい児をもつ親と養育レジリエンス・子育て経験の検討. 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)
- 3. 研究会・学会地方会
1. 徳富謙太郎, 弓削康太郎, 八戸由佳子, 石井隆大, 磯岡藍子, 須田正勇, 大矢崇志, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗. 毛様類粘性星細胞腫の進展に伴い非けいれん性てんかん重積状態を呈した11歳男児. 第88回日本小児神経学会九州地方会. 2020年1月12日(福岡).
 2. 日野綾, 八戸由佳子, 弓削康太郎, 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 重度側弯を伴う脊髄性筋萎縮症患者に対する髄注治療の取り組み. 第508回日本小児科学会福岡地方会例会. 2020年2月8日(福岡).
 3. 後藤康平, 八戸由佳子, 石井隆大, 弓削康太郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. ケトン食療法とペランパネルの併用が著効した1歳例. 第15回 日本てんかん学会九州地方会 2020.7.11 (久留米Web配信)
 4. 後藤康平, 八戸由佳子, 石井隆大, 磯岡藍子, 多々良一彰, 弓削康太郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. 潰瘍性大腸炎治療中に脳静脈洞血栓症を来した2歳男児. 第89回日本小児神経学会九州地方会 2020.8.2 (福岡)
 5. 南里大樹, 大武瑞樹, 木村拓郎, 八戸由佳子, 弓削康太郎, 水落建輝, 山下裕史朗. 脊髄性筋萎縮症に対する遺伝子治療の実践と課題. 第510回日本小児科学会福岡地方会例会. 2020.12.12 (福岡).
- 4. その他
1. 山下裕史朗. ADHDの包括的治療: Summer Treatment Program 15年の実践. 第223回倉敷小児科専門医学会Web 2020.9.23
 2. 山下裕史朗. メラトニン製剤承認で変わる神経発達症診療—「睡眠」を聞き「睡眠から攻める」診療へ. 日本医事新報 2020.9.26 P14-15
 3. 山下裕史朗. 発達障害をもつ子のライフステージを通じた支援. ハッピーママクラブ 2020.11.15 13時～15時半(久留米Zoom)
 4. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 山下裕史朗. 当院におけるゾルゲンスマ投与の実際. 西日本GRTシンポジウム(ノバルティス) 2020.11.28

5. 弓削康太郎. 遺伝子補充療法の投与にあたって. EXPERT MEETING ONASEMNOGENE ABEPARVOVEC (ノバルティス) 2020.12.13 (Web).
6. 弓削康太郎, 八戸由佳子, 山下裕史朗. 市販後国内症例提示. EXPERT MEETING ONASEMNOGENE ABEPARVOVEC (ノバルティス) 2020.12.13 (Web).

—記念誌、新聞、テレビ、ラジオ—

—Happy Mama Club 連載—

1. 山下裕史朗. 神経発達症：お薬の話パート2. Happy Mama Club 2019.12-2020.1 合併号
2. 山下裕史朗. 米国Farman大学での発達に課題を抱える学生への支援. Happy Mama Club 2020.2
3. 山下裕史朗. 発達性読み書き障害について知ろう. Happy Mama Club 2020.3
4. 山下裕史朗. 発達性協調運動症 まだ知られていない神経発達症. Happy Mama Club 2020.4
5. 山下裕史朗. 新型コロナウイルス COVID-19 が子どもと家族に及ぼす影響. Happy Mama Club 2020.5
6. 山下裕史朗. チック症とトゥレット症. Happy Mama Club 2020.6
7. 山下裕史朗. お子さんの「トリセツ」作成の勧め：パート1. Happy Mama Club 2020.7
8. 山下裕史朗. お子さんの「トリセツ」作成の勧め：パート2. Happy Mama Club 2020.8
9. 山下裕史朗. 発達障害の考え方, 基本的対応法と子育てレジリエンス. Happy Mama Club 2020.9
10. 山下裕史朗. 小児期の神経発達症にともなう睡眠障害. Happy Mama Club 2020.10
11. 山下裕史朗. 妊娠・出産から思春期まで切れ目のない子育て支援. Happy Mama Club 2020.11
12. 山下裕史朗. 子どもの育て方を教えてもらったことがありますか?. Happy Mama Club 2020.12
13. 松石豊次郎. レット症候群特集. 関西情報ネット ten 読売テレビ 2020.8.13 (VTR 16:47~17:51)
14. 永光信一郎. 子どもと親のためのヒーロー図鑑～こころを支えてくれるヒーローたち～(親子の心のHEROES) NHK ニュース 2020.10.14 18:10-
15. 永光信一郎. 子どもと親のためのヒーロー図鑑～こころを支えてくれるヒーローたち～(親子の心のHEROES) 西日本新聞(筑後版・朝刊) 2020.10.8
16. 永光信一郎. 「アプリで病気を治療」始まる～こころと行動を支えるアプリ(中・高校生向け「むぎまる」) 朝日新聞全国版折込 (be) 2020.12.12

5. 研究費・受賞

1. 山下裕史朗. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(継続)「唾液コルチゾール・MHPGは神経発達症診断・治療評価に有用か?」146万円(代表)
2. 永光信一郎. 日本医療研究開発費(AMED)(継続)成育疾患克服等総合研究事業(主任研究者 永光信一郎)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」437万円(代表)
3. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費(新規)成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(主任研究者 山縣然太郎)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究(19DA1003)」60万円(分担)

4. 永光信一郎. 厚生労働科学研究費(継続)成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 岡明)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」100万円(分担)
5. 永光信一郎. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(継続)「アクティブラーニングによる親子コミュニケーション促進アプリの開発」182万円(代表)
6. 弓削康太郎. 文部科学省研究費 基盤研究(若手)(継続)「レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明」234万円(代表)
7. 弓削康太郎. 日本医療研究開発費(AMED)(新規)革新的医療シーズ実用化研究事業(主任研究者 弓削康太郎)「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」449万円(代表)
8. 石井隆大. 文部科学省研究費 基盤研究(若手)(継続)「ICTを活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発」128万(代表)

—受賞—

1. Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, Matsuoka M, Iguchi T, Okada A, Sakuta R, Inoue T, Otani R, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Tsurumaru Y, Ishii R, Kakuma T and Yamashita Y. Validation of a childhood eating disorder outcome scale. BioPsychoSocial Medicine (2019) 13:21 第18回 日本心身医学会 池見賞受賞演題 2020.6
2. 永光信一郎/久留米工業高等専門学校. 第9回健康寿命をのばそう!アワード 「子どもと親のためのヒーロー図鑑~こころを支えてくれるヒーローたち~(親子の心のHEROES)」子ども家庭局長賞 団体部門 優良賞 2020.11.30 10:00~11:30 厚生労働省(オンライン)

—班会議—

<永光信一郎>

1. 永光信一郎, 村上佳津美, 作田亮一, 土生川千珠. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」班 個別班会議(代表 永光信一郎) 2020.1.11 東京
2. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」班 第2回班会議(代表 永光信一郎) 2020.1.29 東京
3. 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究」班 「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ(代表 山縣然太郎) 2020.5.18 17:00-18:00 Web会議
4. 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」(代表 岡明) 2020.6.28 10:00-12:00 Web会議
5. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第1回班会議(代表 永光信一郎) 2020.6.28 13:30-15:30 Web会議
6. 永光信一郎, 岡田あゆみ. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議(代表 永光信一郎) 2020.6.29 19:30-20:10 Web会議

7. 永光信一郎, ライツーツビッツ 片山崇 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議 (代表 永光信一郎) 2020.7.17 10:00-Web会議
8. 永光信一郎, 令和2年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「母子保健情報を活用した「健やか親子21 (第2次)」の推進に向けた研究」班 「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ (代表 山縣然太郎) 2020.7.27 18:00-21:00 Web会議
9. 永光信一郎, 稲光毅, 令和2年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」個別班会議 (代表 岡明) 2020.10.18 (福岡)
10. 永光信一郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議 (代表 永光信一郎) 2020.10.14 20:00-21:10 Web会議
11. 永光信一郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議 (代表 永光信一郎) 2020.11.26 20:00-22:10 Web会議
12. 永光信一郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」AMED PSPO合同班会議 (代表 永光信一郎) 2020.12.7 17:00-19:00 Web会議
13. 永光信一郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議 (代表 永光信一郎) 2020.12.17 20:00-22:10 Web会議

<弓削康太郎>

1. 弓削康太郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」Web会議 (代表 弓削康太郎) 2020.9.15 11:00-11:45
2. 弓削康太郎, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」第1回班会議 (代表 弓削康太郎) 2020.10.6 10:30-12:45
3. 松石豊次郎, 池田恭, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」個別班会議 (代表 弓削康太郎) 2020.10.7 10:30-11:30
4. 弓削康太郎, 高橋知之, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」BFMDRSを中央評価するためのビデオ撮影プロトコル作成 (代表 弓削康太郎) 2020.10.23 18:00-19:00 久留米大学病院小児科外来
5. 松石豊次郎, 池田恭, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」認定NPO法人レット症候群支援機構 代表理事 谷岡哲治氏と面談 (代表 弓削康太郎) 2020.11.5 15:00-16:30 大阪
6. 弓削康太郎, 松石豊次郎, 池田恭, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」さくらんぼ会会長 平山 千里氏と面談 (代表 弓削康太郎) 2020.11.8 16:30-18:30 聖マリア病院会議室
7. 弓削康太郎, 池田恭, 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」個別打ち合わせ (代表 弓削康太郎) 2020.11.9 15:00-16:00

8. 弓削康太郎. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」第2回班会議 (代表 弓削康太郎) 2020.11.10 10:30-11:30 久留米
9. 松石豊次郎、池田恭. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」ヒアリング (代表 弓削康太郎) 2020.11.5 15:00-16:30 大阪
10. 松石豊次郎、池田恭. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」瀬川記念小児神経学クリニック 星野恭子院長ほか面談 (代表 弓削康太郎) 2020.11.21 18:00-19:30 東京
11. 池田恭. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」患者アンケートに関する 手続きの打ち合わせ (代表 弓削康太郎) 2020.12.3 15:00-16:00 大阪
12. 松石豊次郎、池田恭. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」患者アンケートに関する 手続きの打ち合わせ (代表 弓削康太郎) 2020.12.7 14:00-15:00 小倉
13. 弓削康太郎. 令和2年度日本医療研究開発費 (AMED) 「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」第3回班会議 (代表 弓削康太郎) 2020.12.8 10:30-11:30 久留米

内分泌・筋・ミトコンドリア

— 1. 論文 —

1. Inoue T, Nakamura A, Iwahashi-Odano M, Tanase-Nakao K, Matsubara K, Nishioka J, Maruo Y, Hasegawa Y, Suzumura H, Sato S, Kobayashi Y, Murakami N, Nakabayashi K, Yamazawa K, Fuke T, Narumi S, Oka A, Ogata T, Fukami M, Kagami M. Contribution of gene mutations to Silver-Russell syndrome phenotype: multigene sequencing analysis in 92 etiology-unknown patients. *Clinical epigenetics*. 2020;12(1):86.
2. Iwahashi-Odano M, Nagasaki K, Fukami M, Nishioka J, Yatsuga S, Asakura Y, Adachi M, Muroya K, Hasegawa T, Narumi S. Congenital Hypothyroidism Due to Truncating PAX8 Mutations: A Case Series and Molecular Function Studies. *The Journal of clinical endocrinology and metabolism*. 2020;105(11).
3. Kagiya Y, Yatsuga S, Kinoshita M, Koteda Y, Kishimoto S, Koga Y, Suda K. Growth differentiation factor 15 as a useful biomarker of heart failure in young patients with unrepaired congenital heart disease of left to right shunt. *Journal of cardiology*. 2020;75(6):697-701.
4. Koga Y, Povalko N, Inoue E, Ishii A, Fujii K, Fujii T, Murayama K, Mogami Y, Hata I, Ikawa M, Fukami K, Fukumoto Y, Nomura M, Ichikawa K, Yoshida K. A new diagnostic indication device of a biomarker growth differentiation factor 15 for mitochondrial diseases: From laboratory to automated inspection. *Journal of inherited metabolic disease*. 2020 DOI:10.1002/jimd.12317.
5. Yatsuga S, Amano N, Nakamura-Utsunomiya A, Kobayashi H, Takasawa K, Nagasaki K, Nakamura A, Nishigaki S, Numakura C, Fujiwara I, Minamitani K, Hasegawa T, Toshihiro T. Clinical characteristics of cytochrome P450 oxidoreductase deficiency: a nationwide survey in Japan. *Endocrine journal*. 2020 DOI: 10.1507/endocrj.EJ20-0011.
6. Ushijima K, Ogawa Y, Terao M, Asakura Y, Muroya K, Hayashi M, Ishii T, Hasegawa T, Sekido R, Fukami M, Takada S, Narumi S. Identification of the first promoter-specific gain-of-function *SOX9* missense variant (p.E50K) in a patient with 46,XX ovotesticular disorder of sex development. *American Journal of Medical Genetics Part A*. 2021;185(4):1067-75.
7. Ikawa M, Povalko N, Koga Y. Arginine therapy in mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes. *Current opinion in clinical nutrition and metabolic care* 2020;23(1):17-22.
8. Koga Y, Wei YH, Tanaka M. Mitochondrial research in Asia: A step for the mito-global conference. *Biochimica et biophysica acta General subjects*. 2020;1864(9):129638.
9. Shima S, Umino S, Kitamura M, Ushijima K, Yatsuga S. Severe Hyponatremia in Combined Diabetic Ketoacidosis and Hyperglycemic Hyperosmolar State: A Case Report of Two Japanese Children. *Cureus*. 2020;12(8):e9672.
10. 古賀靖敏. 特集・第61回日本小児神経学会学術集会 共同研究支援委員会主催セミナー「臨床研究から薬事承認への道のり」 ミトコンドリア病の治療薬とバイオマーカーの開発. *脳と発達*. 2020;52(3):51.
11. 古賀靖敏. MELASに伴う頭痛の治療. *日本頭痛学会誌*. 2020;47.

— 2. 著書 —

1. 古賀靖敏. ミトコンドリア病診療のアップデート. *小児科診療 UP-to-DATE*. 2020;41:16-20.
2. 古賀靖敏. 高乳酸・ピルビン酸血症. *今日の小児治療指針 第17版* (水口雅, 市橋光, 崎山弘, 伊藤秀一 総編集). *医学書院*. 2020;193-4.

3. 古賀靖敏. ミトコンドリア病. 遺伝学の百科事典. 丸善出版. 2021 in press.
4. 古賀靖敏. ミトコンドリア病 MELAS, MERRF. 脳神経内科診断ハンドブック. 中外医学社. 2021 in press.

— 3. 講演・シンポジウム —

3-1 国際学会

1. Koga Y. Scientific Programme Committee member and organizer of the entire event. Mitochondrial Medicine (Virtual Conference). 2020.11.30-12.2 (Cambridge, UK).

3-2 国内学会

1. 古賀靖敏. ミトコンドリア病の新規バイオマーカー GDF15: 研究室から診断デバイス開発へ. 第63回日本腎臓学会学術総会 シンポジウム4「ミトコンドリア UP TO DATE—ミトコンドリア腎症のすべてが分かるシンポジウム—」. 2020.8.19-21 (横浜, オンデマンド配信).

3-3 研究会・学会地方会

1. 古賀靖敏. ミトコンドリア病: 概要と治療, 診断バイオマーカーの発見・特許・産業化. 第31回宮崎代謝内分泌研究会 特別講演. 2020.10.14 (宮崎, オンライン講演).

— 4. 学会・研究会講演 —

4-1 国際学会

1. Koga Y. A randomized, placebo-controlled study of sodium pyruvate in patients with mitochondrial disease. Mitochondrial Medicine (Virtual Conference). 2020.11.30-12.2 (Cambridge, UK).

4-2 国内学会

1. 鈴木江莉奈, 宮戸真美, 田中敏章, ハツ賀秀一, 西岡淳子, 緒方勤, 堀川玲子, 深見真紀. アジアの中枢性思春期早発症患者において MKRN3 遺伝子変異・異常は稀である. 第24回日本生食内分泌学会. 2020.1.11 (東京)
2. 海野聡子, 喜多村美幸, ハツ賀秀一. Becker型筋ジストロフィーに成長ホルモン分泌不全性低身長症と中枢性甲状腺機能低下症を合併した兄弟例. 第93回日本内分泌学会学術集会. 2020.7.20-8.31 (浜松, WEB開催).
3. 古賀木綿子, 海野聡子, 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 古賀靖敏. 血縁者間骨髄移植後に萎縮性甲状腺炎を発症し、その後バセドウ病を呈した1例. 第93回日本内分泌学会学術集会. 2020.7.20-8.31 (浜松, WEB開催)
4. ハツ賀秀一, 天野直子, 宇都宮朱里, 小林弘典, 高澤啓, 長崎啓祐, 中村明枝, 西垣五月, 沼倉周彦, 藤原幾磨, 南谷幹史, 長谷川奉延, 田島敏広. チトクローム P450 オキシドレクターゼ欠損症: 日本の全国調査. 第93回日本内分泌学会学術集会. 2020.7.20-8.31 (浜松, WEB開催)
5. 齊木玲央, 海野聡子, ハツ賀秀一. トスフロキサシン内服で一過性腎性尿崩症を来した6歳6ヶ月児. 第93回日本内分泌学会学術集会. 2020.7.20-8.31 (浜松, WEB開催)
6. 木下正啓, ハツ賀秀一, 七種護, 進藤亮太, 緑川浩子, 嶽間沢昌史, 原直子, 津田兼之介, 岩田幸子, 岩田欧介, 古賀靖敏. 新生児期の Growth differentiation factor 15 の推移. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (神戸, WEB開催)
7. ハツ賀秀一, 海野聡子, 喜多村美幸, 牛嶋規久美, 古賀木綿子. 糖尿病性ケトアシドーシスに高ナトリウム血症を合併した小児の2例: 輸液の選択はどうすべきか?. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020.10.5-16 (大津, WEB開催)

4-3 研究会・学会地方会

1. 海野聡子, 牛嶋規久美, 古賀木綿子, 西岡淳子, ハツ賀秀一. 糖尿病性ケトアシドーシス・高血糖高浸透圧症候群 (DKA-HHS) に高Na血症を伴った初発1型糖尿病の10歳女児例. 第3回日本小児内分泌学会九州・

沖縄地方会, 2020.2.23 (鹿児島)

2. 北城恵史郎, ハツ賀秀一, 牛嶋規久美, 岡松由記. Glycogenic hepatopathy の1型糖尿病9歳男児例. 第510回日本小児科学会福岡地方会例会. 2020.12.12 (福岡)
3. 山下哲矢, 大武瑞樹, 津田恵太郎, 古賀木綿子, 牛嶋規久美, 海野聡子, 西岡淳子, 多々良一彰, 田中悠平, 後藤憲志, 古賀靖敏, 山下裕史朗. 発熱、無痛性甲状腺腫大を主訴に受診した化膿性甲状腺炎の1例. 第510回日本小児科学会福岡地方会例会. 2020.12.12 (福岡)

4.4 その他

1. ハツ賀秀一. 思春期発来異常 up-to-date. 帝人社内講演会. 2020.1.23 (函館)
2. ハツ賀秀一. 2型糖尿病～小児と成人違いと治療にフォーカスを当てて～. Exciting Learning Seminar. 2020.10.3 (神戸, オンライン講演)
3. ハツ賀秀一. 日常に潜む小児内分泌疾患. 筑豊小児科医会. 2020.10.16 (飯塚, オンライン講演)

—研究費・受賞—

1. 古賀靖敏. 日本医療研究開発機構研究費 先進的医療機器・システム等技術開発事業 先進的医療機器・システム等開発プロジェクト「tRNA 修飾異常を起因とする疾患を迅速かつ正確に診断可能なシステム研究開発」研究開発分担者 (2020年度) 110.5万円
2. 古賀靖敏. 文部科学省科学研究費 基盤研究 (C) 「GDF15を用いたミトコンドリア病・メタボリック症候群に対する創薬の基盤研究」研究代表者 (2018年度～2020年度) 442万円

循環器

1. 原著論文

1. Fukazawa R, Kobayashi J, Ayusawa M, Hamada H, Miura M, Mitani Y, Tsuda E, Suzuki H, Takahashi K, Suda K, Kamiyama H, Onouchi Y, Kobayashi T, Yokoi H, Sakamoto K, Ochi M, Kitamura S, Hamaoka K, Senzaki H, Kimura T on behalf of the Japanese Circulation Society joint Working Group. JCS/JSCS 2020 Guideline on Diagnosis and Management of Cardiovascular Sequelae in Kawasaki Disease. *Cir J.* 2020;84:1348-1407
2. Teramachi Y, Maeno Y, Hirose A, Horinouchi T, Kozuma Y, Yoshizato T, Suda K. Simple method to distinguish the type of fetal premature contraction using arterial Doppler time interval measurements. *J Obstet, Gynaecol Res.* 2020;doi:10.1111/jog.14563.
3. Takatsuki S, Furutani Y, Inai K, Kobayashi T, Inuzuka R, Uyeda T, Kamisago M, Muneuchi J, Kaneko M, Misaki Y, Ono H, Kato H, Shimada E, Shinohara T, Waki K, Suda K, Hayabuchi Y, Ohki H, Ishizaki R, Maeda J, Yamagishi H. Pregnancy and delivery in patients with repaired congenital heart disease – A Retrospective Japanese multicenter study – . *Cir J.* 2020;doi:10.1253/circj.CJ-19-1150.
4. Yoshimoto H, Maeda Y, Inoue T, Kagiya Y, Teramachi Y, Takase R, Koteda Y, Fukumoto Y, Iemura M, Suda K. Intracardiac echocardiography as a guide for transcatheter closure of patent ductus arteriosus. *J Interv Cardiol.* 2020;2020:5147193
5. Kagiya Y, Yatsuga S, Kinoshita M, Koteda Y, Kishimoto S, Koga Y, Suda K. Growth differentiation factor 15 as a useful biomarker of heart failure in young patients with unrepaired congenital heart disease of left to right shunt. *J Cardiol.* 2020;75:697-701
6. Kobayashi T, Ayusawa M, Suzuki H, Abe J, Ito S, Kato T, Kamada M, Shiono J, Suda K, et al. Revision of diagnostic guidelines for Kawasaki disease (6th revised edition). *Pediatr Int.* 2020;62:1135-8
7. Kamura T, Kishimoto S, Kagiya Y, Yoshimoto H, Kudo Y, Suda K. Coronary artery aneurysms caused by Kawasaki disease diagnosed at school cardiac screening in two children. *J Pediatr Cardiol Cardiac Surg.* 2020;4:29-34

2. 著書・総説

1. 須田憲治. 大動脈縮窄. 今日の小児治療指針第17版. 2020 ; 17 : 512-3
2. 鍵山慶之, 須田憲治. 小児科専攻医必携 専門検査・治療実施マニュアル6 心臓カテーテル検査・血管造影. 小児科 2020 ; 61 (8) : 1085-94
3. 日本川崎病学会 (編集 | 監修) 高橋 啓, 鮎沢 衛, 阿部 淳, 伊藤秀一, 加藤太一, 鎌田政博, 小林 徹, 塩野淳子, 鈴木啓之, 須田憲治, 土屋恵司, 中村常之, 中村好一, 野村裕一, 濱田洋通, 深澤隆治, 古野憲司, 松裏裕行, 松原知代, 三浦 大 川崎病診断の手引きガイドブック2020 診断と治療社 2020
4. 門間和夫, 前野泰樹. Fallot四徴症のラット胎仔心臓血管断面の天然色図譜. 小児循環器学会雑誌 2020;36(4):270-6

4. 特別講演・シンポジウム・パネルディスカッション

-1. 国際学会

1. Suda K. Porto-systemic shunt intervention: when and how? The 9th Vietnam Congress of Congenital Heart Disease. 2020/1/10 (Vietnam)

-2. 国内学会

1. 籠手田雄介. 心房中隔欠損症のカテーテル治療前後に求められる心血管エコー. 第30回日本超音波医学会九州地方会. 特別セミナー特別企画循環器領域 2020/10/4 (久留米)
2. 深澤隆治, 鮎沢衛, 鈴木啓之, 須田憲治, 高橋啓, 津田悦子, 松浦裕行, 三谷義英, 三浦大, 池田和幸, 尾内善広, 神山浩, 小林徹, 濱田洋通. 2020年改訂版川崎病心臓血管後遺症の診断と治療のガイドラインと今後の課題. 第40回日本川崎病学会・学術集会. 2020/10/30-31 シンポジウム (三重 Web開催)
3. 須田憲治. Piccoloを用いた動脈管閉鎖術の考え方と実際—2kg未満を治療する前に—. PDA治療の新時代AMPLATZER PICCOLO—合併症ゼロを目指して—. 第56回日本小児循環器学会学術集会. 2020/11/23 スポンサーディブニングセミナー (京都ハイブリット開催)
4. 籠手田雄介. 2kg未満における静脈アプローチの重要性・動脈管のエコー評価について. PDA治療の新時代AMPLATZER PICCOLO—合併症ゼロを目指して—. 第56回日本小児循環器学会学術集会. 2020/11/23 スポンサーディブニングセミナー (京都ハイブリット開催)
5. 高瀬隆太, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 吉浦孝一郎, 渡邊順子, 須田憲治. A novel mutation in TMEM260 cases Truncus arteriosus communis in siblings. 分子医学・再生医療・心臓血管発生「先天性心疾患の理解・治療・予防につなげる臨床心臓発生学」. 第56回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2020/11/23 (京都ハイブリット開催)
6. 鍵山慶之, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史, 須田憲治. 体重15kg以下の小児に対する経皮的心房中隔欠損閉鎖術の安全性と有効性. カテーテルインターベーション「心房中隔欠損カテーテル治療の限界点」. 第56回日本小児循環器学会学術集会. 2020/11/22パネルディスカッション (京都ハイブリット開催)

-5. 学会・研究会発表

-1. 国際学会

1. Kagiya Y, Iemura M, Suda K. Pulmonary edema after balloon pulmonary valvuloplasty in infant with tetralogy of fallot. The 9th Vietnam Congress of Congenital Heart Disease. 2020/1/8-10 (Vietnam)
2. Teramachi Y, Hornberger LL, Eckersley L. Evolution of Atrial Function and Its Relationship with Ventricular Function in the Fetal Mouse. The American Society of Echocardiography Scientific Session2020. 2020/8/8-10 (アメリカ Web開催)

-2. 国内学会・研究会

1. 須田憲治, 籠手田雄介, 高瀬隆太, 前田靖人, 井上忠, 福本義弘, 庄島賢弘, 田中啓之. 成人先天性心疾患の上行大動脈合併症. 第22回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会 (ハイブリッド・ポスターセッション) 2020.1.19 (東京)
2. 須田憲治, 籠手田雄介, 高瀬隆太, 前田靖人, 井上忠, 福本義弘, 庄島賢弘, 田中啓之. 成人先天性心疾患の上行大動脈合併症. 第22回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会 (ハイブリッド・ポスターセッション) 2020.1.19 (東京)
3. 家村素史, 鍵山慶之, 安永弘, 須田憲治. 完全大血管転位症 (TGA) Jatene術後の左冠動脈閉塞に対してoff-pump CABGを施行した一例. 第22回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会 2020.1.19 (東京)
4. 籠手田雄介, 高瀬隆太, 吉本裕良, 前田靖人, 桑原浩徳, 井上忠, 財満康之, 庄嶋賢弘, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術後に体重増加を得られた症例の検討. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会 2020/1/23-25 (沖縄)
5. 鍵山慶之, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 家村素史, 須田憲治. 動脈管ステントのpitfall: 重篤

な合併症を来した2例の報告. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会 2020/1/23-25 (沖縄)

6. 津田恵太郎, 高瀬隆太, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 岸本慎太郎, 籠手田雄介, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術により体重増加を得られた歌舞伎症候群の1例. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会. 2020/1/23-25 (沖縄)
7. 井手水紀, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 財満康之, 庄嶋賢弘, 須田憲治. カテーテル治療を断念した冠動脈瘻(右冠動脈-右室)の乳児例. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会. 2020/1/23 (沖縄)
8. 籠手田雄介, 高瀬隆太, 前田靖人, 井上忠, 須田憲治. 心房中隔欠損症に対する早期治療介入の指標に関する検討. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会. 2020/1/25 (沖縄)
9. 高瀬隆太, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術における心臓トロポニンTの測定意義. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会. 2020/1/25 (沖縄)
10. 前田靖人, 高瀬隆太, 井上忠, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損閉鎖術におけるデバイス透視撮影の経時的变化の検討. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会. 2020/1/25 (沖縄)
11. 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治. 小児における橈骨動脈穿刺可能な年齢・体格の検討. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会. 2020/1/25 (沖縄)
12. 徳富謙太郎, 高瀬隆太, 津田恵太郎, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 須田憲治, 山下裕史朗. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術(TC-ASD)により体重増加を得られた歌舞伎症候群の1例. 第508回日本小児科学会福岡地方会 2020/2/8 (福岡)
13. 高瀬隆太, 岸本慎太郎, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 須田憲治, 山下裕史朗. 初回IVIG不応に対するIVIG再投与とステロイドパルス併用療法(SPST)の検討. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020/8/21-23 (神戸Web開催)
14. 前田靖人, 高瀬隆太, 井上忠, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 山下裕史朗, 須田憲治. 導出右側胸部誘導心電図を用いた肺高血圧症検出の有用性. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020/8/21-23 (神戸Web開催)
15. 前田靖人, 木下正啓, 井上忠, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 須田憲治, 山下裕史朗. 動脈管開存症に対してAMPLATZERピッコロオクルーダーで経カテーテル閉鎖術を施行した新生児の2症例. 第509回日本小児科学会学術集会福岡地方会. 2020/10/10 (福岡Web開催)
16. 高瀬隆太, 井上忠, 前田靖人, 鍵山慶之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 須田憲治. 多発動脈瘤を認めた乳児期発症の不全型川崎病の長期フォローアップ. 第40回日本川崎病学会・学術集会. 2020/10/30 (三重Web開催)
17. 井上忠, 高瀬隆太, 津田恵太郎, 清松光貴, 前田靖人, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治. 心房中隔欠損症を伴う乳幼児ダウン症におけるASD治療前後の体重変化. 第56回日本小児循環器学会総会・学術集会 2020/11/22-24 (京都ハイブリット開催)
18. 津田恵太郎, 鍵山慶之, 家村素史, 須田憲治. 感染性心内膜炎を疑うエピソードの後に破裂したValsalva洞動脈瘤の1例. 第56回日本小児循環器学会総会・学術集会 2020/11/22-24 (京都ハイブリット開催)
19. 清松光貴, 鍵山慶之, 家村素史, 安永弘, 須田憲治. 経皮的肺動脈弁形成術後に急激な肺水腫を呈した未修復Fallot四徴症の乳児例. 第56回日本小児循環器学会総会・学術集会 2020/11/22-24 (京都ハイブリット開催)
20. 前田靖人, 高瀬隆太, 清松光貴, 津田恵太郎, 井上忠, 鍵山慶之, 財満康之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 庄嶋

賢弘, 須田憲治. 導出右側胸部誘導心電図を用いた肺高血圧症検出の有用性. 第56回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2020/11/22 (京都ハイブリット開催)

6. 研究費

1. 須田憲治. AMED難治性疾患実用化研究事業(吉兼班)「川崎病冠動脈瘤発症予防のための急性期治療難治例予測診断法開発に直結するエビデンス創出研究」(R2年度) 20万円
2. 高瀬隆太. 文部科学省科学研究費若手研究「エピゲノム解析による免疫グロブリン療法抵抗性川崎病の機序解明」(R2年～R4年) 429万円
3. 前田靖人. 文部科学省科学研究費若手研究「導出18誘導心電図を用いた肺高血圧症の診断方法の」(R2年～R4年) 351万円

—受賞—

1. 井手水紀, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 財満康之, 庄嶋賢弘, 須田憲治. カテーテル治療を断念した冠動脈瘻(右冠動脈-右室)の乳児例. 第31回日本Pediatric Interventional Cardiology学会. 優秀ポスター賞 2020/1/23 (沖縄)

免疫膠原病

—論文—

英文

1. Hidaka Y, Fujimoto K, Matsuo N, Koga T, Kaieda S, Yamasaki S, Nakashima M, Migita K, Nakayama M, Ohara O, Hoshino T, Nishikomori R, Ida H. Clinical phenotypes and genetic analyses for diagnosis of systemic autoinflammatory diseases in adult patients with unexplained fever. *Mod Rheumatol.* 2020;1-6.
2. Kadowaki T, Ohnishi H, Kawamoto N, Kadowaki S, Hori T, Nishimura K, Kobayashi C, Shigemura T, Ogata S, Inoue Y, Hiejima E, Izawa K, Matsubayashi T, Matsumoto K, Imai K, Nishikomori R, Ito S, Kanegane H, Fukao T. Immunophenotyping of A20 haploinsufficiency by multicolor flow cytometry. *Clin Immunol.* 2020;216:108441.
3. Matsuda T, Kambe N, Ueki Y, Kanazawa N, Izawa K, Honda Y, Kawakami A, Takei S, Tonomura K, Inoue M, Kobayashi H, Okafuji I, Sakurai Y, Kato N, Maruyama Y, Inoue Y, Otsubo Y, Makino T, Okada S, Kobayashi I, Yashiro M, Ito S, Fujii H, Kondo Y, Okamoto N, Ito S, Iwata N, Kaneko U, Doi M, Hosokawa J, Ohara O, Saito MK, Nishikomori R. Clinical characteristics and treatment of 50 cases of Blau syndrome in Japan confirmed by genetic analysis of the NOD2 mutation. *Ann Rheum Dis.* 2020;79(11):1492-1499.
4. Nakajima D, Kawashima Y, Shibata H, Yasumi T, Isa M, Izawa K, Nishikomori R, Heike T, Ohara O. Simple and Sensitive Analysis for Dried Blood Spot Proteins by Sodium Carbonate Precipitation for Clinical Proteomics. *J Proteome Res.* 2020;19(7):2821-2827.
5. Onizawa H, Kato H, Kimura H, Kudo T, Soda N, Shimizu S, Funabiki M, Yagi Y, Nakamoto Y, Priller J, Nishikomori R, Heike T, Yan N, Tsujimura T, Mimori T, Fujita T. Aicardi-Goutières syndrome-like encephalitis in mutant mice with constitutively active MDA5. *Int Immunol.* 2020.
6. Shimizu M, Matsubayashi T, Ohnishi H, Nakama M, Izawa K, Honda Y, Nishikomori R. Haploinsufficiency of A20 with a novel mutation of deletion of exons 2-3 of TNFAIP3. *Mod Rheumatol.* 2020;1-5.
7. Shinar Y, Ceccherini I, Rowczenio D, Aksentijevich I, Arostegui J, Ben-Chétrit E, Boursier G, Gattorno M, Hayrapetyan H, Ida H, Kanazawa N, Lachmann HJ, Mensa-Vilaro A, Nishikomori R, Oberkanins C, Obici L, Ohara O, Ozen S, Sarkisian T, Sheils K, Wolstenholme N, Zonneveld-Huijssoon E, van Gijn ME, Touitou I. ISSAID/EMQN Best Practice Guidelines for the Genetic Diagnosis of Monogenic Autoinflammatory Diseases in the Next-Generation Sequencing Era. *Clin Chem.* 2020;66(4):525-36.
8. Yu Y, Watanabe R, Shibao K, Ishii Y, Nishikomori R, Heike T, Fujisawa Y, Furuta J. Case of cryopyrin-associated periodic syndrome who recovered from growth delay by treatment with canakinumab. *J Dermatol.* 2020.

和文

1. 西小森隆太. 自己炎症症候群の分類と最適化治療. *リウマチ科.* 2020;63(1):137-45.
2. 西小森隆太. 【自己炎症性疾患を知る—自己炎症性疾患の概念を知り、どのようにIBD病態に関与しているかを理解する—】自己炎症性疾患とは? *消化器病学サイエンス.* 2020;4(1):18-21.
3. 西小森隆太. 【変わりつつある免疫不全症】自己炎症性疾患 自己炎症性疾患の考え方. *小児科診療.* 2020;83(3):371-377.
4. 西小森隆太. 知っておきたい基礎用語 インフラマソーム. *日本小児皮膚科学会雑誌.* 2020;39(2):157-158.
5. 西小森隆太, 大西秀典, 井澤和司. 【消化器疾患と免疫系】自己炎症性疾患における消化器炎症. *臨床免疫・*

アレルギー科. 2020;74(1):30-38.

6. 西小森隆太, 田中征治. リウマチ膠原病疾患と鑑別を要する自己炎症性疾患. 九州リウマチ. 2020;40(2):71-76.
7. 西小森隆太. 【免疫・炎症疾患のすべて】免疫・炎症疾患における検査/血液検査 遺伝子検査. 日本医師会雑誌. 2020;149 (特別2):S101-S2.
8. 西小森隆太, 田中征治, 井澤和司. 【IV. 自己炎症性疾患】概論及びトピックス. 日本臨床 (増刊号). 2020;78(7):385-390.
9. 小村一浩, 西小森隆太, 平城直子, 坂井秀彰. 【冬の皮膚病】Aicardi-Goutières症候群. 皮膚科診療 2020;42(12):1066-1069.

—講演・シンポジウム—

-1. 国際学会

なし

-2. 国内学会

1. 西小森隆太. インターフェロノパチー. 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会. 2020.2.15 (東京)
2. 西小森隆太. 家族性地中海熱アップデート. 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2020.9.3 (web開催)
3. 西小森隆太. 自己炎症性疾患:自然免疫系の遺伝性炎症性疾患 脊椎関節炎との接点. 第30回日本脊椎関節炎学会. 2020.9.26 (web開催)

-3. 研究会・学会地方会

1. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 九州山口小児がん学術講演会 2020.8.1 (久留米)
2. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 自己炎症性疾患セミナー 2020.8.28 (Web開催)
3. 西小森隆太. “炎症性腸疾患”の病型をとる自己炎症性疾患について. 第22回筑後IBDカンファレンス 2020.10.28 (久留米)
4. 西小森隆太. 小児における不明熱の診療 症例を中心にして. 第86回佐賀小児科地方会. 2020.12.12 (佐賀市)
5. 田中征治. 若年性特発性関節炎と関節リウマチの違い. 旭化成 社内講演 2020. (久留米)

—学会・研究会—

-1. 国際学会

1. Shima S, Nishikomori R, Araki J, Zaitso A, Tanaka S, Ozono S, Yamashita Y. RAS-associated leukoproliferative disease with rashes lacking autoantibodies. 22nd Asia-Pacific League of Associations for Rheumatology 2020.10.24-29 (WEB conference)
2. Tanaka S, Shima S, Nishino I. Immune-mediated necrotizing myopathy (IMNM) with arthritis and SLE-like symptoms. 22nd Asia-Pacific League of Association for Rheumatology. 2020.10.24-29(WEB conference)

-2. 国内学会

1. 西小森隆太, 渡邊順子, 田中征治, 鳥さほ, 北城恵史郎, 水落建輝, 石原潤, 柴田洋史, 八角高裕, 井澤和司, 岡村賢, 林昌弘, 鈴木民夫, 田代克弥, 富野広通, 江頭智子, 高柳俊光, 山下裕史朗. A case report of Hermansky-Pudlak type 2 in comparison with Hermansky-Pudlak type 1 in onePID center. 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会. 2020.2.15-16 (東京)

2. 田中征治, 西小森隆太. 3剤のバイオスイッチで改善を認めたJIA成人例. 第59回九州リウマチ学会, 2020.3.7-8 (久留米)
3. 前田由可子, 本田吉孝, 井澤和司, 芝剛, 田中孝之, 東口素子, 加藤健太郎, 宮本尚幸, 伊佐真彦 [西谷], 仁平寛士, 柴田洋史, 日衛嶋栄太郎, 滝田順子, 西小森隆太. 免疫疾患の遺伝的背景 新規機能解析系によるMEFVバリエントの病原性評価・分類の試み. 第43回日本臨床免疫学会総会, 2020.10.15-17 (web開催)
4. 岡松由記, 西小森隆太. 訪問看護導入が症状コントロールに効果があった重症アトピー性皮膚炎患児. 第123回日本小児科学会学術集会, 2020.8.1-23 (web開催)

-3. 研究会・学会地方会

1. 田中征治, 井手水紀, 北城恵史郎, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津亜友子, 西小森隆太. SLEにおけるステロイド減量中の副腎不全. SLE ZOOM webセミナー 2020 (web conference)
2. 田中征治, 西小森隆太, 山下裕史朗. 様々な症状を併発した免疫介在性壊死性筋症 (IMNM). 第16回九州小児免疫フォーラム, 2020.3.7 (福岡)

—研究費—

1. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「疾患特異的iPS細胞とモデルマウスを用いたAicardi-Goutieres症候群の中樞神経系炎症病態解明と治療薬開発・発症前診断の基盤構築」(研究開発代表者・継続) 172万円
2. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「原発性免疫不全症・自己炎症性疾患・早期発症型炎症性腸疾患の臨床ゲノム情報を連結した患者レジストリの構築研究」(研究開発分担者・新規) 76万円
3. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究」(研究代表者・新規) 409万円
4. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究」(研究分担者・新規) 100万円
5. 西小森隆太. 厚生労働科研費・免疫・アレルギー疾患政策研究事業「難治性・希少免疫疾患におけるアンメットニーズの把握とその解決に向けた研究」(研究分担者・新規) 代表者一括計上
6. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究C)「細胞工学並びにオミックス解析を用いたTNF受容体周期性症候群の診療基盤構築」(研究代表者・継続) 100万円
7. 西小森隆太. 石橋助成金「久留米大学における自己炎症性疾患の診断・治療向上を目指した病態解析研究」(研究代表者・継続) 200万円

新生児

—論文—

1. Okada J, Hisano T, Unno M, Tanaka Y, Saikusa M, Kinoshita M, Harada E, Iwata S, Iwata O. Video-call based newborn triage system for local birth centres can be established without major instalment costs using commercially available smartphones. Scientific reports. 2020;10(1):7552.
2. Takaki Y, Mizuochi T, Takei H, Eda K, Konishi KI, Ishihara J, Kinoshita M, Hashizume N, Yamashita Y, Nittono H, Kimura A. Urinary and serum oxysterols in children: developmental pattern and potential biomarker for pediatric liver disease. Scientific reports. 2020;10(1):6752.
3. Kagiya Y, Yatsuga S, Kinoshita M, Koteda Y, Kishimoto S, Koga Y, Suda K. Growth differentiation factor 15 as a useful biomarker of heart failure in young patients with unrepaired congenital heart disease of left to right shunt. J Cardiol. 2020;75(6):697-701.
4. Teramachi Y, Maeno Y, Hirose A, Horinouchi T, Kozuma Y, Yoshizato T, Suda K. Simple method to distinguish the type of fetal premature contraction using arterial Doppler time interval measurements. J of Obstet Gynecol Res. 2020 online doi:10.1111/jog.14563

—著書—

1. 前野泰樹. Chapter 7. 胎児不整脈 胎児疾患と胎児治療 編著 中田雅彦 メディカ出版 2020 163-178.
2. 海野光昭, 岡田純一郎. Family-Centered Careは新たなステージに！情報通信技術（ICT）は赤ちゃんと家族の絆を育むか. with NEO メディカ出版 2020；33（4）：70-72.
3. 前野泰樹. 第3章, 胎児心臓病の超音波検査1. 四腔断面像a. 心室中隔欠損症 b. 房室中隔欠損症 産婦人科の実際 臨時増刊号 発生から紐解く胎児超音波診断アトラス 金原出版 2020；69：1304-1318.

—講演・シンポジウム・教育セミナー—

1. 前野泰樹. 「えっ？たったこれだけで良いの？」胎児心奇形を簡単発見：3 vessel view スクリーニング法のすすめ. 第26回広島産婦人科超音波研究会 2020.1.30（広島）
2. 前野泰樹. 教育セミナー 胎児心エコー：胎児循環から知る新生児期の循環管理. 第56回日本小児循環器学会学術集会 2020.11.21（京都）
3. 前野泰樹. Dopplerによる胎児不整脈の評価. 日本胎児心臓病学会第5回レベルII胎児心エコー講習会 2020.12.13（東京）

—学会発表—

1. 木下正啓, 八ッ賀秀一, 七種護, 進藤亮太, 緑川浩子, 嶽間沢昌史, 原直子, 津田兼之介, 岩田幸子, 岩田欧介, 古賀靖敏. 新生児期のGrowth differentiation factor 15の推移. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21-23（神戸）
2. 前田靖人, 木下正啓, 井上忠, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 須田憲治, 山下裕史朗. 動脈管開存症に対してAMPLATZER ピッコロオクルーダーで経カテーテル閉鎖術を施行した新生児の2症例. 第509回日本小児科学会福岡地方会 2020.10.10（福岡）
3. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 須田憲治. Circular shuntを伴う胎児Ebstein 奇形症例の継時的な心機能評価の経験：胎児治療導入の指標とは. 第56回日本小児循環器学会学術集会 2020.11.22-24（京都）

4. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 須田憲治. 母体抗SS-A抗体による胎児心筋障害の評価における Dual-gate Doppler法の有用性. 第56回日本小児循環器学会学術集会 2020.11.22-24 (京都)

—研究費—

1. 木下正啓. 日本医療研究開発機構 (AMED) 成育疾患克服等総合研究事業 「新生児低酸素性虚血性脳症の生物マーカーの実用化に向けた臨床研究」 研究開発分担者

血液

【論文】

1. Oka Y, Sato I, Hamada M, Yuge K, Ozono S, Watanabe Y, et al. Digenic mutations in ALDH2 and ADH5 impair formaldehyde clearance and cause a multisystem disorder, AMeD syndrome. *Sci Adv.* 6; eabd7197, 2020
2. Soejima T, Sato I, Ozono S, et al. Impacts of physical late effects on presenteeism in childhood cancer survivors. *Pediatr Int.* 62(11):1241-1249, 2020. doi: 10.1111/ped.14293.
3. Yuzawa K, Terui K, Ozono S, et al. Clinical, cytogenetic, and molecular analyses of 17 neonates with transient abnormal myelopoiesis and nonconstitutional trisomy 21. *Pediatr Blood Cancer.* 67(4) : e28188. Doi: 10.1002/pbc.28188. Epub 2020 Feb 5.
4. 平田衣乃、大園秀一、高瀬隆太、前田靖人、他. 巨大冠動脈瘤を合併した川崎病として発症した慢性活動性EBV感染症の1例. *小児科臨床* 73(1); 2020, p55-60
5. 久保雄太郎、大園秀一、大石早織、満尾美穂、中川慎一郎、山下裕史朗. 治療開始直後に顔面神経麻痺を合併した成熟B細胞性急性リンパ性白血病の一例. *小児科臨床*: (印刷中)

【講演・シンポジウム】

国内講演

1. 松尾陽子. 血友病保因者の現状と課題. 第24回岡山血液セミナー. 2020.10.3 (Web)
2. 松尾陽子. 保因者の出血傾向について. 世界血友病デー・Web公開セミナー2020 2020.10.30 (Web)
3. 松尾陽子. アドヒアランスを保つための適切な投与間隔. Hemophilia Meet the Expert in Kyushu 2020.10.31 (Web)
4. 松尾陽子. 血友病診療連携～他科・他施設との連携～. 筑後血友病診療連携勉強会. 2020.11.13 (Web)
5. 松尾陽子. 血友病周産期と取り巻く課題. 第30回日本産婦人科新生児血液学会 学術集会 サノフィ共催シンポジウム (Web)

【学会・研究会】

国際学会

1. Ozono S, Sakashita K, Yoshida N, Kakuda H, Watanabe K, Maeda M, Ishida Y, Manabe A, Taga T. A nationwide survey of late effects in survivors of juvenile myelomonocytic leukemia in Japan: 2nd Annual Meeting of the European Society for Pediatric Oncology (SIOP EUROPE 2020)⇒COVID-19感染拡大により延期

【国内学会】

1. 川村みゆき、王丸陽光、大園秀一、石井文人、名嘉眞武国. 久留米大学皮膚科で経験した乳児血管腫のまとめ: 第119回日本皮膚科学会学術集会. 2020.6.4-6.7 (京都市: Web学会)
2. 大園秀一、大石早織、満尾美穂、中川慎一郎、高瀬隆太、長井孝二郎、山下裕史朗、小野宏彰、古賀友紀. 白血球数170万に伴う白血球増多症に交換輸血が有効であった乳児白血病の一例: 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21 (神戸市: Web学会)
3. 北城恵史郎、中川慎一郎、大石早織、満尾美穂、大園秀一. 反復性の気胸を合併した多臓器型ランゲルハンス細胞組織球症の乳児例: 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21 (神戸市: Web学会)

4. 大石早織、満尾美穂、中川慎一郎、大園秀一、桑原浩徳、木下正啓、籠手田雄介、須田憲治、前野泰樹、小金丸雅道、山下裕史朗. 新生児巨大肝血管腫に対し血管塞栓術と化学療法が奏功した1例：第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21（神戸市：Web学会）
5. 菅毅、島さほ、大園秀一、大石早織、満尾美穂、中川慎一郎、西小森隆太、田中悠平、山下裕史朗、今留謙一. 無脾症にEBウイルス関連血球貪食リンパ組織球症（EBV-HLH）を合併した一例：第509回日本小児科学会福岡地方会例会. 2020.10.10（福岡市：Hybrid配信発表）
6. 満尾美穂、大石早織、中川慎一郎、大園秀一、平岡弘二、森岡基浩、草野弘宣. 早期に多発脳転移を認めた左足原発乳児線維肉腫の1例：第49回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会 2020.10.26（九州大学病院拠点病院TV会議：Web）
7. 坂本早季、深堀優、八木実、大園秀一. 脊柱管内に進展した脂肪芽腫の1例：第49回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会（九州大学病院拠点病院TV会議：Web）
8. 青野広子、松尾陽子、中村加奈子、飯野英親、大園秀一. 学童期血友病児に対する母親の口腔保健行動と課題：第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4-6（久留米市：Web学会）
9. 大石早織、満尾美穂、中川慎一郎、大園秀一、山下裕史朗、中原啓智、東舘成希、八木実. 寛解導入療法中に急性虫垂炎を発症した急性骨髄性白血病の1例：第62回日本小児血液がん学会学術集会 2020.11.20-11.18（福島：Web学会）
10. 満尾美穂、大石早織、中川慎一郎、大園秀一、平岡弘二、森岡基浩、草野弘宣. 全摘術後早期に多発脳転移で再発した左足先天性軟部腫瘍の一例：第62回日本小児血液がん学会学術集会 2020.11.20-11.18（福島：Web学会）
11. 大園秀一、織田慶子、七條茂樹、由谷茂、伊藤康彦、中川慎一郎、大津寧、伊東恭吾. 小児難治性肉腫に対する個別化ペプチドワクチンによる早期第二相臨床試験 ～免疫反応を中心に～：第62回日本小児血液がん学会学術集会 2020.11.20-11.18（福島：Web学会）

【研究費】

1. 青野広子、飯野英親、中村加奈子、松尾陽子、大園秀一. 科研費 基盤研究C：血友病をもつ学童期の子どもの口腔内環境と口腔保健行動に関する調査
2. 大園秀一. 日本医療研究開発機構研究費（革新的がん医療実用化研究事業）「若年性骨髄単球性白血病（JMML）に対する標準的化学療法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発（研究開発代表者 村松秀城）分担研究者

【その他】

1. 大園秀一. 「治療サマリー」フォーマットの電子カルテへの取り込みについて：第16回JCCG長期フォローアップ委員会 2020.5.30（Web会議）
2. 大園秀一. 疾患委員会報告（JMML20のQOL調査について）：第17回JCCG長期フォローアップ委員会 2020.10.4（Web会議）
3. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和元年度4回 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会（LCAS）ファシリテーター 2020.2.9（大阪市）
4. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和2年度第1回 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会（LCAS）ファシリテーター 2020.9.15-9.16（広島大学主幹：Web研修会）

消化器

—論文—

1. Kimura A, Mizuochi T, Takei H, Ohtake A, Mori J, Shinoda K, Hashimoto T, Kasahara M, Togawa T, Murai T, Iida T, Nittono H. Bile Acid Synthesis Disorders in Japan: Long-Term Outcome and Chenodeoxycholic Acid Treatment. *Dig Dis Sci*. 2021 Jan 1. doi: 10.1007/s10620-020-06722-4. Online ahead of print.
2. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, Mitsuyama K. Diagnostic accuracy of serum proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibodies in children with ulcerative colitis. *J Gastroenterol Hepatol*. 2020 Oct 13. doi: 10.1111/jgh.15296. Online ahead of print.
3. Fujisaki T, Matsuishi T, Kamizono J, Amamoto M, Mizuochi T. Crohn's disease and chronic recurrent multifocal osteomyelitis in a Japanese boy. *Pediatr Int*. 2020 Dec 27. doi: 10.1111/ped.14370. Online ahead of print.
4. Konishi KI, Mizuochi T, Takeuchi I, Arai K, Yamamoto K. Congenital chloride diarrhea in a Japanese neonate with a novel SLC26A3 mutation. *Pediatr Int* 2020;62:1294-1296.
5. Sakaguchi H, Shirakawa T, Mizuochi T. Ischemic colitis in an infant with constipation treated with stimulant laxative. *JGH Open* 2020;4:1012-1013.
6. Konishi KI, Mizuochi T, Honma H, Etani Y, Morikawa K, Wada K, Yamamoto K. A novel de novo SLC26A3 mutation causing congenital chloride diarrhea in a Japanese neonate. *Mol Genet Genomic Med* 2020;8:e1505.
7. Takaki Y, Mizuochi T, Takei H, Eda K, Konishi KI, Ishihara J, Kinoshita M, Hashizume N, Yamashita Y, Nittono H, Kimura A. Urinary and serum oxysterols in children: developmental pattern and potential biomarker for pediatric liver disease. *Sci Rep* 2020;10:6752.
8. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, Mitsuyama K. Antibodies to Crohn's disease peptide 353 as a diagnostic marker for pediatric Crohn's disease: a prospective multicenter study in Japan. *J Gastroenterol* 2020;55:515-522.
9. Takeuchi T. Factors Involved in the Degeneration of Lymphoid Tissue in the Appendix. *Kurume Med J* 2020;65:123-127.
10. Mizutani A, Sabu Y, Naoi S, Ito S, Nakano S, Minowa K, Mizuochi T, Ito K, Abukawa D, Kaji S, Sasaki M, Muroya K, Azuma Y, Watanabe S, Oya Y, Inomata Y, Fukuda A, Kasahara M, Inui A, Takikawa H, Kusahara H, Bessho K, Suzuki M, Togawa T, Hayashi H. Assessment of Adenosine Triphosphatase Phospholipid Transporting 8B1 (ATP8B1) Function in Patients With Cholestasis With ATP8B1 Deficiency by Using Peripheral Blood Monocyte-Derived Macrophages. *Hepatol Commun* 2020;5:52-62.
11. Uchida T, Suzuki T, Kikuchi A, Kakuta F, Ishige T, Nakayama Y, Kanegane H, Etani Y, Mizuochi T, Fujiwara SI, Nambu R, Suyama K, Tanaka M, Yoden A, Abukawa D, Sasahara Y, Kure S. Comprehensive Targeted Sequencing Identifies Monogenic Disorders in Patients With Early-onset Refractory Diarrhea. *J Pediatr Gastroenterol Nutr*. 2020;71:333-339.
12. Arai K, Kunisaki R, Kakuta F, Hagiwara SI, Murakoshi T, Yanagi T, Shimizu T, Kato S, Ishige T, Aomatsu T, Inoue M, Saito T, Iwama I, Kawashima H, Kumagai H, Tajiri H, Iwata N, Mochizuki T, Noguchi A, Kashiwabara T, Shimizu H, Suzuki Y, Hirano Y, Fujiwara T. Phenotypic characteristics of pediatric inflammatory bowel disease in Japan: results from a multicenter registry. *Intest Res* 2020;18:412-420.

13. Sato K, Kakiyama G, Suzuki M, Naritaka N, Takei H, Sato H, Kimura A, Murai T, Kurosawa T, Pandak WM, Nittono H, Shimizu T. Changes in conjugated urinary bile acids across age groups. *Steroids* 2020;164:108730.
14. Chen JY, Wu JF, Kimura A, Nittono H, Liou BY, Lee CS, Chen HS, Chiu YC, Ni YH, Peng SS, Lee WT, Tsai IJ, Chang MH, Chen HL. AKR1D1 and CYP7B1 mutations in patients with inborn errors of bile acid metabolism: Possibly underdiagnosed diseases. *Pediatr Neonatol* 2020;61:75-83.
15. 津村直弥, 水落建輝, 坂口廣高, 加藤 健, 石原 潤, 石井隆大, 山下裕史朗. 当院における小児機能性ディスペプシアの臨床像. *日兒栄消肝誌* 2020;34:71-15.

—著書・総説—

1. 柳 忠宏, 水落建輝, 光山慶一. 炎症性疾患 IL-10/IL-10 受容体遺伝子異常症. *日本臨床* 2020;11:242-245.
2. 高木祐吾, 柳 忠宏, 水落建輝, 牛島高介. そもそも便秘って何? (総論) 原因はまったく様々. *小児科診療* 2020;6:721-726.
3. 坂口廣高, 水落建輝. 症候からみる臨床検査の進めかた 黄疸. *小児科診療* 2020;増刊:102-107.
4. 石原 潤, 水落建輝. 小児の炎症性腸疾患 炎症性腸疾患の治療 免疫調節薬. *小児内科* 2020;52:1245-1249.
5. 虻川大樹, 青松友槻, 井上幹大, 岩間 達, 熊谷秀規, 清水泰岳, 神保圭佑, 南部隆亮, 水落建輝, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛 崇, 福岡智哉, 新井勝大, 清水俊明, 田尻 仁. 小児潰瘍性大腸炎治療指針 (2019年). *日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌* 2019;33:110-127.
6. 田尻 仁, 水落建輝, 他 (ガイドライン作成委員). C型肝炎母子感染小児の診療ガイドライン. *日兒栄消肝誌* 2020;34:95-121.

—教育講演・シンポジウム—

(国内学会・研究会)

1. 水落建輝. モーニングセミナー. C型肝炎は小児でも内服治療が可能な時代に! ~小児の今までとこれから~. 第15回日本小児栄養消化器肝臓学会卒後教育セミナー. 2020.1.26 (福岡)
2. 水落建輝. シンポジウム4 新たに解明されつつある小児肝疾患. 胆道閉鎖症におけるオキシステロールのバイオマーカーとしての可能性. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)

(その他)

1. 坂口廣高. こどもの便秘の診かた. EAファーマ株式会社 小児慢性便秘症 地域連携講演会. 2020.9.30 (Web, 久留米)

—学会・研究会演題—

(国際学会)

1. Konishi K, Mizuochi T, Takei H, Yasuda R, Sakaguchi H, Ishihara J, Takaki Y, Kinoshita M, Hashizume N, Fukahori S, Shoji H, Miyano G, Yoshimaru K, Matsuura T, Sanada Y, Tainaka T, Uchida H, Kubo Y, Tanaka H, Sasaki H, Murai T, Fujishiro J, Yamashita Y, Nio M, Nittono H, Kimura A. Urinary oxysterols in biliary atresia: a prospective multicenter study in Japan. *The Liver Meeting 2020*. 2020.11.13-16 (Web, USA)
2. Jonas M, Rhee S, Kelly D, Del Valle-Segarra A, Feiterna-Sperling C, Gilmour S, Gonzalez-Peralta R, Hierro L, Leung D, Ling S, Lobzin Y, Lobritto S, Mizuochi T, Narkewicz M, Sabharwal V, Wen J, Lon H, Marcinak J, Topp A, Tripathi R, Sokal E. Safety, efficacy and pharmacokinetic analysis of glecaprevir/pibrentasvir in pediatric patients with genotypes 1-6 chronic hepatitis C virus (HCV) infection: part 2 of the DORA study. *The Liver Meeting 2020*. 2020.11.13-16 (Web, USA)

(国内学会)

1. 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻 仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原 潤, 山下裕史朗. 小児潰瘍性大腸炎の診断における血清PR3-ANCAの有有用性: 前方視的多施設研究. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (Web, 京都)
2. 石原 潤, 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻 仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河 剛, 坂口廣高, 小西健一郎, 山下裕史朗. 本邦の小児炎症性腸疾患における血清重鉛・セレン値の検討: 後方視的多施設研究. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (Web, 京都)
3. 小西健一郎, 水落建輝, 柳 忠宏, 渡邊順子, 大久保一宏, 大賀正一, 丸山秀彦, 竹内一朗, 関根裕司, 増田 敬, 菊池信行, 四本由郁, 大塚泰史, 田中秀典, 位田 忍, 山下裕史朗. 本邦における先天性クロール下痢症の遺伝子像: 全国多施設研究. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (Web, 京都)
4. 坂口廣高, 水落建輝, 石原 潤, 小西健一郎, 白川利彦, 中嶋有美子, 森内浩幸, 山下裕史朗. 高度の機能性便秘症で刺激性下剤使用中に発症した虚血性大腸炎の1歳例. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (Web, 京都)
5. 山本翠香, 水落建輝, 坂口廣高, 石原 潤, 小西健一郎, 山下裕史朗. 当院の小児炎症性腸疾患に対する生物学的製剤/免疫調節剤の使用状況. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.21-23 (Web, 京都)
6. 大津生利衣, 安田亮輔, 加藤 健, 白濱裕子, 坂口廣高, 石原 潤, 水落建輝. 当院の小児炎症性腸疾患におけるチオプリン製剤の用量非依存性副作用の臨床像. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
7. 新居見真吾, 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝. ジアミノジフェニルスルホンが奏効したステロイド高用量依存性IgA血管炎の小児例. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
8. 山川祐輝, 坂口廣高, 加藤 健, 白濱裕子, 安田亮輔, 石原 潤, 水落建輝. 当院の小児炎症性腸疾患におけるメサラジン不耐症の臨床像. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
9. 安田亮輔, 加藤 健, 白濱裕子, 坂口廣高, 石原 潤, 水落建輝. 当院における炎症性腸疾患の診断後に治療中断に至った小児例の臨床像. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
10. 坂口廣高, 小西健一郎, 深堀 優, 松浦俊治, 岩間 達, 眞田幸弘, 東海林宏道, 藤代 準, 田井中貴久, 佐々木英之, 仁尾正記, 水落建輝. 本邦の胆道閉鎖症診断における血清MMP-7の有有用性: 全国多施設研究. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
11. 石原 潤, 加藤 健, 白濱裕子, 安田亮輔, 坂口廣高, 秋葉 純, 水落建輝. 当院における小児機能性ディスぺプシアの消化管内視鏡所見と病理像. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
12. 水落建輝, 田尻 仁. 小児C型肝炎に対するグレカプレビル・ピブレンタスビル治療の全国調査研究の立ち上げ. 第52回日本小児感染症学会. 2020.11.7-8 (Web, 大阪)

(研究会・地方会)

1. 坂口廣高, 石原 潤, 江田慶輔, 高木祐吾, 水落建輝. 当院の小児IBDにおけるメサラジン不耐症の現状. 第21回筑後IBDカンファレンス. 2020.1.29 (久留米)
2. 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻 仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原 潤, 樽井俊介, 光山慶一. 小児潰瘍性大腸炎の診断における血清PR3-ANCAの有有用性: 前方視的多施設研究. 第20回日本小児IBD研究会. 2020.2.2 (東京)

3. 坂口廣高, 石原 潤, 小西健一郎, 江田慶輔, 高木祐吾, 水落建輝. 当院の小児炎症性腸疾患におけるメサラジン不耐症の現状. 第20回日本小児IBD研究会. 2020.2.2 (東京)
4. 石原 潤, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻 仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 坂口廣高, 小西健一郎, 水落建輝. 本邦の小児炎症性腸疾患における血清亜鉛・セレンの検討: 後方視的多施設研究. 第20回日本小児IBD研究会. 2020.2.2 (東京)
5. 藤崎 徹, 松石登志哉, 神蘭淳司, 天本正乃, 水落建輝. 慢性再発性多発性骨髄炎を合併した小児クローン病の1例. 第20回日本小児IBD研究会. 2020.2.2 (東京)
6. 坂口廣高, 小西健一郎, 安田亮輔, 木下正啓, 橋詰直樹, 深堀 優, 吉丸耕一朗, 松浦俊治, 岩間 達, 眞田幸弘, 箕輪 圭, 東海林宏道, 藤代 準, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 水落建輝. 本邦の胆道閉鎖症診断における血清MMP-7の有用性: 全国多施設研究. 第47回日本胆道閉鎖症研究会. 2020.12.5 (Hybrid, 仙台)
7. 水落建輝, 小西健一郎, 武井 一, 安田亮輔, 坂口廣高, 石原 潤, 高木祐吾, 木下正啓, 橋詰直樹, 深堀 優, 東海林宏道, 宮野 剛, 吉丸耕一朗, 松浦俊治, 眞田幸弘, 田井中貴久, 内田広夫, 久保有美子, 田中 拓, 佐々木英之, 村井 毅, 藤代 準, 山下裕史朗, 仁尾正記, 入戸野博, 木村昭彦. 胆道閉鎖症における尿中オキシステロールの有用性. 第47回日本胆道閉鎖症研究会. 2020.12.5 (Hybrid, 仙台)

—受賞・獲得研究費—

1. 坂口廣高. 優秀演題賞 (肝臓部門). 本邦の胆道閉鎖症診断における血清MMP-7の有用性: 全国多施設研究. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
2. 坂口廣高. 優秀演題賞 (基礎研究部門). 本邦の胆道閉鎖症診断における血清MMP-7の有用性: 全国多施設研究. 第47回日本胆道閉鎖症研究会. 2020.12.5 (Hybrid, 仙台)
3. 小西健一郎. 最優秀論文賞. Clinical Features, Molecular Genetics, and Long-Term Outcome in Congenital Chloride Diarrhea: A Nationwide Study in Japan. J Pediatr. 2019;214:151-157.e6. 第47回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2020.10.23-25 (Web, 東京)
4. 水落建輝 (研究代表者). 文科省科学研究費 基盤研究C「オキシステロールは小児急性肝不全のバイオマーカーとして有用か?」. 2018~20年度. 429万円 (2020年度91万円).
5. 安田亮輔 (研究代表者). 文科省科学研究費 若手研究「オキシステロールは胆道閉鎖症のバイオマーカーとして有用か?」. 2020~22年度. 403万円 (2020年度182万円).
6. 水落建輝 (研究分担者). AMED 田尻班「小児ウイルス性肝炎患者の病態進展評価及び治療選択に関する研究開発」. 2020年度30万円.
7. 水落建輝 (研究分担者). AMED 林班「進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型に対する世界初・日本発の内科的治療法の確立に向けたブフェニールの医薬品研究」. 2020年度18万円.
8. 水落建輝 (研究分担者). 厚労省科研 田口班「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」. 2020年度20万円.

腎泌尿器

—論文—

1. 財津亜友子, 田中征治, 江崎拓也, 長野智那, 榊原菜々, 野津寛大, 飯島一誠. Dent病に合併した薬剤性の急性尿細管間質性腎炎の1例. 日本小児腎不全誌 2020;40:191-194.
2. 江崎拓也, 田中征治. 【夜尿症】夜尿症の治療を開始する際の準備 検査 尿検査・血液検査. 小児内科 2020;52(11):1602-1606.
3. 江崎拓也, 田中征治, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 財津亜友子, 喜多村美幸, ハツ賀修一, 山下裕史朗. 当院の尿崩症患児の腎泌尿器合併症と排尿状況のまとめ. 第27回日本逆流性腎症フォーラム記録集 2020;27回:16-18.
4. 倉田悟子, 田中征治, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 江崎拓也, 財津亜友子, 小松誠和, 久野敏. ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ投与後の遅発性好中球減少における骨髓所見と末梢血CD20細胞の検討. 日本小児腎臓病学会雑誌 2020;33(1):51-57.
5. 平田衣乃, 大園秀一, 高瀬隆太, 前田靖人, 桑原浩徳, 鍵山慶之, 吉本裕良, 岸本慎太郎, 籠手田雄介, 田中征治, 安陪由思, 大島孝二, 矢野博久, 須田憲治. 巨大冠動脈瘤を合併した川崎病として発症した慢性活動性EBV感染症の1例. 小児科臨床 2020;73(1):55-60.
6. 中嶋大介, 坂田清彦, 竹重暢之, 中村英夫, 森岡基浩, 田中征治. 急性水頭症で発症した結節性硬化症関連上衣下巨細胞性星細胞腫に対しエベロリムスで治療した1例. 小児の脳神経 2020;45(1):34-39.
7. 中村 舞, 田中征治. 急性巣状細菌性腎炎 (AFBN) の早期診断について. 小児科 2020;61(2):187-91.

著書

1. 田中征治. 小児特発性ネフローゼ症候群診療ガイドライン2020 難治性疾患政策研究事業「小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の確立」(厚生労働科学研究補助金) 監修 日本小児腎臓病学会 診断と治療社
2. 田中征治. 小児IgA腎症診療ガイドライン2020 監修 日本小児腎臓病学会 診断と治療社
3. 田中征治. 今日の小児治療指針 第17版 監修 水口雅, 市橋光, 崎山弘, 伊藤秀一. 医学書院 東京

—学会・研究会—

1. 田中征治, 福井香織, 渡邊順子, 山下裕史朗. 結節性硬化症チームにおける当院の現状と小児科医の役割. 第123回日本小児科学会学術集会. 2020.8.1-23 (web開催)

—講演—

1. 田中征治. 結節性硬化症診療における問題点. ノバルティスファーマ. 社内講演

—新聞—

1. 田中征治. 夜尿症 すこやかカフェ 読売新聞 2020.7.15

感染症

—論文—

1. Tataru K, Gotoh K, Okumiya K, Teramachi M, Ishimoto K, Tanaka Y, Iwahashi J, Shindou S, Yamashita Y, Watanabe H. Molecular epidemiology, antimicrobial susceptibility, and characterization of fluoroquinolone non-susceptible *Streptococcus pyogenes* in Japan. *Journal of Infection and Chemotherapy* Mar;26(3):280-284. 2020
2. Kamura T, Tanaka Y, Tsumura N, Ohya T, Okamatsu Y. *Yersinia pseudotuberculosis* Infection Complicated with Bacteremia in a 10-Month-Old Boy, Case Rep Pediatrics. 2020 Nov;27;2020:8846511.
3. Oishi T, Fukuda Y, Wakabayashi S, Kono M, Ono S, Kato A, Kondo E, Nakamura Y, Tanaka Y, Teranishi H, Akaike H, Tanaka T, Miyata I, Ogita S, Ohno N, Nakano T, Ouchi K. Low prevalence of *Chlamydia pneumoniae* infections during the *Mycoplasma pneumoniae* epidemic season: Results of nationwide surveillance in Japan. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 2020 Nov;26(11):1116-1121.
4. Nakamura Y, Oishi T, Kaneko K, Kenri T, Tanaka T, Wakabayashi S, Kono M, Ono S, Kato A, Kondo E, Tanaka Y, Teranishi H, Akaike H, Miyata I, Ogita S, Ohno N, Nakano T, Ouchi K. Recent acute reduction in macrolide-resistant *Mycoplasma pneumoniae* infections among Japanese children. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 2021 Feb;27(2):271-276.

—総説・その他—

1. 後藤憲志. 輸入感染症の対策 呼吸器内科 Vol.37 No.6 613-617 2020
2. 後藤憲志. ロタウイルスワクチンは1価を使用すべきである (Cons) 小児科臨床 Vol.73 No.8 p1214-1216, 2020
3. 西小森隆太, 後藤憲志. 免疫不全を伴う無汗性外胚葉形成異常症 小児感染免疫学 725-729, 2020
4. 後藤憲志. 腸チフス・バラチフス 今日の診断指針 第8版 1291-1292,2020
5. 田中悠平, 吉田菜穂子, 伊川泰広, 井上健斗, 竹下健一. おたふくかぜワクチン株は国内株を使用すべきである (Pros). 小児科臨床 73巻8号 1204-1206 (2020.08)
6. 田中悠平, 後藤憲志. 抗微生物薬の予防的投与 小児感染症治療ハンドブック 2020-2021, p176-185, 2020
7. 田中悠平, 津村直幹. A群レンサ球菌. 臨床検査ガイド2020年改訂版. 大西 宏明 Medical Practice編集委員会 編 文光堂(東京) 2020;880-883
8. 田中悠平, 津村直幹. 急性咽頭・扁桃炎—フソバクテリウムの治療を含めて. 小児内科 (0385-6305) 52巻10号 1398-1402

—教育セミナー、その他—

1. 後藤憲志. COVID-19の対応を中心とした広域施設における他職種連携の経験を科学する 医師の立場から 第20回日本感染看護学会学術集会. シンポジウム 2020.8.2 (福岡)
2. 後藤憲志. グローバル社会におけるワクチンプラクティス 第40回 熊本小児科医学会学術集会 特別講演 2020.9.27 (熊本)
3. 後藤憲志. 多剤耐性菌によるアウトブレイク対応～複数の事例から～. 第90回日本感染症学会西日本地方会. シンポジウム 2020.11.6-8 (福岡)

4. 後藤憲志. 「年末年始の帰省の疑問。移動ポイント」FBS福岡放送「めんたいワイド」2020.12.11

—講演会—

1. 後藤憲志. 学校（保育園、幼稚園）において注意すべき感染性疾患. 小郡三井医師会予防接種講演会. 2020.1.29（小郡）
2. 後藤憲志. No more CDI. 第19回福岡県病院薬剤師会筑後支部会 感染症研修会（久留米）

—学会発表—

1. 後藤憲志, 田中悠平, 田中征治, 西小森隆太. A case of X-linked agammaglobulinemia with multiple colon polyposis JSAID2020 2020.Feb.14 (Tokyo)
2. 後藤憲志, 島 さほ, 三宅 淳, 田中玄師, 多々良一彰, 屋宮清仁, 寺町麻利子, 田中悠平, 山下裕史朗. 渡航外来における小児の受診状況. 123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21-23 (神戸, Web)
3. 田中悠平, 嘉村拓朗, 津村直弥, 大矢崇志, 岡松由記. 菌血症を合併した *Yersinia pseudotuberculosis* 感染症の乳児例. 第123回 日本小児科学会学術集会 2020.8.21-23 (神戸, Web)
4. 宮崎裕之, 田中悠平, 多々良一彰, 屋宮清仁, 後藤憲志, 山下裕志朗. 人工内耳埋め込み術から5ヵ月後に発症した肺炎球菌性髄膜炎の7歳女児例. 第509回日本小児科学会福岡地方会例会 2020.10.10 (福岡)
5. 後藤憲志, 坂本 透, 三宅 淳, 多々良一彰, 渡邊 浩. 久留米大学におけるAMRアクションプラン前後での抗菌薬使用状況の検討: 第90回日本感染症学会西日本地方会 2020.11.6 (福岡)
6. 多々良一彰, 後藤憲志, 坂本 透, 三宅 淳, 岩橋 潤, 柏木孝仁, 原好 勇, 渡邊 浩. 皮膚クリプトコッカス症の2例. 第90回 日本感染症学会西日本地方会集会 2020.11.5-7 (福岡)
7. 後藤憲志, 宮崎裕之, 島 さほ, 三宅 淳, 屋宮清仁, 多々良一彰, 田中悠平, 山下裕史朗. 久留米大学小児病棟におけるAMRアクションプラン前後での抗菌薬使用状況の検討. 第52回日本小児感染症学会総会・学術集会 2020.11.7-8 (大阪, Web)
8. 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 多々良一彰, 屋宮清仁, 後藤憲志. 小児がん患者における発熱性好中球減少症351例の検討: 第52回日本小児感染症学会総会・学術集会 2020.11.7-8 (大阪, Web)
9. 多々良一彰, 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 寺町麻利子, 後藤憲志. 当院にて過去5年間で認められた *Bacillus* 属による菌血症の後方視的検討. 第52回 日本小児感染症学会学術集会 2020.11.7-8 (大阪, Web)
10. 屋宮清仁, 山川祐輝, 津田恵太郎, 衛藤恵理子, 安部義一, 久我修二, 藤本 保. 当科での有熱性尿路感染症におけるESBL産生菌の検出頻度およびCMZの有効性の評価. 第52回日本小児感染症学会学術集会 2020.11.7-8 (大阪, Web)
11. 島 さほ, 田中悠平, 三宅 淳, 多々良一彰, 屋宮清仁, 寺町麻利子, 石本和久, 後藤憲志. 予防接種センターにおける接種対象者の居住地と接種理由の検証. 第52回日本小児感染症学会総会・学術総会 2020.11.7-8 (大阪, Web)

代謝・遺伝

—論文—

1. Hidaka M, Higashi M, Uwatoko T, Uwatoko K, Urashima M, Takashima H, Watanabe Y, Kitazono T, Sugimori H. Late-onset ornithine transcarbamylase deficiency: a rare cause of recurrent abnormal behavior in adults. *Acute Medicine & Surgery* 2020;7:e565 doi: 10.1002/ams2.565
2. Matsufuji M, Takeshita E, Nakashima M, Watanabe Y, Fukui K, Hanai T, Ishibashi H, Takashima S. Sodium phenylbutyrate improved the clinical state in an adult patient with arginase 1 deficiency. *Brain Dev.* 2020 Feb;42(2):231-235. doi: 10.1016/j.braindev.2019.09.002. Epub 2019 Oct 8.PMID: 31604595
3. Watanabe Y, Numakura C, Tahara T, Fukui K, Torimura T, Hiromatsu Y, Tomotsune K, Yamakawa M, Hayasaka K. Diabetes mellitus exacerbates citrin deficiency via glucose toxicity. *Diabetes Res Clin Pract.* 2020 Jun;164:108159. doi: 10.1016/j.diabres.2020.108159. Epub 2020 Apr 23.PMID: 32335094
4. Ago Y, Otsuka H, Sasai H, Abdelkreem E, Nakama M, Aoyama Y, Matsumoto H, Fujiki R, Ohara O, Akiyama K, Akiyama K, Fukui K, Watanabe Y, Nakajima Y, Ohnishi H, Ito T, Fukao T. Japanese patients with mitochondrial 3-hydroxy-3-methylglutaryl-CoA synthase deficiency: functional analysis of five novel HMGCS2 mutations. *Exp Ther Med.* 20: 39, 2020 Epub 2020 Sept 1. <https://doi.org/10.3892/etm.2020.9166>
5. Oka Y, Hamada M, Nakazawa Y, Muramatsu H, Okuno Y, Higasa K, Shimada M, Takeshima H, Hanada K, Hirano T, Kawakita T, Sakaguchi S, Ichimura T, Ozono S, Yuge K, Watanabe Y, Kotani Y, Yamane M, Kasugai Y, Tanaka M, Suganami T, Nakada S, Mitsutake N, Hara Y, Kato K, Mizuno S, Miyake N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kito S, Isoyama K, Onodera M, Kaneko H, Matsumoto N, Matsuda F, Matsuo K, Takahashi Y, Mashimo T, Kojima S, Ogi T. Digenic mutations in ALDH2 and ADH5 impair formaldehyde clearance and cause a multisystem disorder, AMeD syndrome. *Sci. Adv.* 2020; 6 : eabd7197 18 December 2020

—著書—

1. 渡邊順子：今日の小児治療指針 第17版 Fabry病 医学書院（東京）2020年 総ページ980.

—講演—

-国内学会

1. 渡邊順子. ライソゾーム病の遺伝カウンセリング. 第44回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 ランチョンセミナー 2020.7.3-5 (那覇市 Web配信)

—学会・研究会発表—

-国内学会

1. 渡邊順子, 福井香織, 浦島真由美, 山下裕史朗. 成人期に適応障害を来したPKUとPAの2症例 Two cases of ID due to IEM presented with adjustment disorder in young adulthood. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21 - 23 (神戸. Web開催)

【研究費・受賞】

1. 分担研究者：渡邊順子. 令和2年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業（難治性疾患政策研究事業）「ライソゾーム病（ファブリ病含む）に関する調査研究」 責任者：奥山虎之
- 2 福井香織. 平成29年～31年度（延長中） 科学研究費助成事業若手研究（B）「体タンパク質の同化・異化調節機構への介入による高アンモニア血症の新規治療薬の開発」

心身症

1. 論文

1. Shimomura G, Nagamitsu S, Suda M, Ishii R, Yuge K, Matsuoka M, Shimomura K, Matsuishi T, Kurokawa M, Yamagata Z, Yamashita Y. Association between problematic behaviors and individual/environmental factors in difficult children. *Brain Dev.* 2020 Jun;42(6):431-437.
2. Sakai S, Nagamitsu S, Koga H, Kanda H, Okamatsu Y, Yamagata Z, Yamashita Y: Characteristics of socially high-risk pregnant women and children's outcomes. *Pediatr Int.* 2020 Feb;62(2):140-145. doi: 10.1111/ped.14058. Epub 2020 Jan 30.
3. Yuge K, Nagamitsu S, Ishikawa Y, Hamada I, Takahashi H, Sugioka H, Yotsuya O, Mishima K, Hayashi M, Yamashita Y. Long-term melatonin treatment for the sleep problems and aberrant behaviors of children with neurodevelopmental disorders. *BMC Psychiatry.* 2020 Sep 10;20(1):445.
4. Suda M, Nagamitsu S, Obara H, Shimomura G, Ishii R, Yuge K, Shimomura K, Kurokawa M, Matsuishi T, Yamagata Z, Kakuma T, Yamashita Y. Association between children's sleep habits and problematic behaviors at age 5. *Pediatr Int.* 2020 Oct;62(10):1189-1196.
5. Nagamitsu S, Mimaki M, Koyanagi K, Tokita N, Kobayashi Y, Hattori R, Ishii R, Matsuoka M, Yamashita Y, Yamagata Z, Igarashi T, Croarkin PE. Prevalence and associated factors of suicidality in Japanese adolescents: results from a population-based questionnaire survey. *BMC Pediatr.* 2020 Oct 6;20(1):467.
6. Habukawa C, Nagamitsu S, Koyanagi K, Nishikii Y, Yanagimoto Y, Seiji Y, Suzuki Y, Go S, Murakami K. Utility of the QTA30 in a school medical checkup for adolescent students. *Pediatr Int.* 2020 Nov;62(11):1282-1288.
7. Habukawa C, Nagamitsu S, Koyanagi K, Nishikii Y, Yanagimoto Y, Seiji Y, Suzuki Y, Go S, Murakami K. Late bedtime reflects QTA30 anxiety symptoms in adolescents in a school checkup. *Pediatr Int.* 2020 Nov 20.
8. 山下裕史朗, 多田泰裕, 穴井千鶴, 弓削康太郎, 家村明子, 岡村尚昌, 永光信一郎, 向笠章子, 江上千代美, 稲垣真澄: スマートリポートメントプログラムの多面的有効性: ADHD児とASD併存 ADHD児へのくるめSTP治療効果の検討. *認知神経科学* 2020;22(1):26-33 (査読あり)

2. 著書

1. 永光信一郎, 小出馨子, 松本英夫, テーマ4「調査研究やカウンセリング体制の充実・ガイドラインの作成等」特集 知っていますか? 健やか親子21 (第2次), 小児内科, 2020, 52(5):648-651
2. 永光信一郎. 産婦人科、小児科医、精神科医、心療内科医のための親子の心の診療マップ. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究班」2020.3
3. 永光信一郎. 親子の心の診療に関する多職種連携マニュアル. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」2020.3
4. 永光信一郎. ティーンズ健診 思春期の子どもへの健康指導マニュアル. 令和元年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」2020.3

3. 講演

—会長講演—

1. 永光信一郎. 思春期健診とCBTアプリによる思春期ヘルスプロモーション 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.11 (久留米Web)

—シンポジウム— (座長)

1. 永光信一郎: 周産期メンタルヘルス. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.5 (久留米Web)

—セミナー— (講演)

1. 永光信一郎. 36回小児保健セミナー 近年特に気になる健康課題 —どのように対応するかネット依存、心身症、不登校— (子どもの心の不調に家庭・学校・かかりつけ医はどのように向き合うべきか 2020.11.15 11:10-12:10 (Web講演))

モーニングセミナー

1. 永光信一郎. 起立くんとともに成長しよう! 2020プロジェクト 2020.9.12 (久留米Web)

研究委員会報告

1. 永光信一郎. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.11 (久留米Web)

-1. 国際学会

1. Nagamitsu S, Horikoshi M, Sakashita K, Sakuta R, Okada A, Matsuura K, Kakuma T, Yamashita Y. Effectiveness of health promotion interventions for adolescents using healthcare visits and a smartphone cognitive behavior therapy application: A randomized controlled trial. American Academy of Child and Adolescent Psychiatry (AACAP)'s 67th Annual Meeting 2020.10.19 (San Francisco Web)

-2. 国内学会

1. 永光信一郎, 江崎光世, 末田遼, 石井隆大, 酒井さやか, 山下大輔, 阪下和美, 岡田あゆみ, 北島翼, 作田亮一, 山下裕史朗. 思春期ヘルスプロモーションスケールの標準化研究. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.23 (神戸Web)
2. 永光信一郎, 松岡美智子, 石井隆大, 山下裕史朗. 親子の心の診療を支える親子向けアプリ政策に関する研究~子どもと親のためのヒーロー図鑑 心を支えてくれるヒーローたち~. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
3. 松岡美智子, 石井隆大, 永光信一郎. 精神疾患患者の子ども支援としての心理教育ツールの作成に関する研究と, 研究を始める契機となった症例. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
4. 石井隆大, 永光信一郎, 山下大輔, 山下裕史朗. 治療に難渋した摂食障害の1例 知的障害を合併した小学校低学年の摂食障害. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
5. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 子どもの睡眠障害予防教育アプリケーション: ぐっすり・わーきんぐを用いたパイロット研究. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
6. 山下大輔, 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 相撲クラブへの拒否感から摂食障害に陥った1例. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
7. 土生川千珠, 永光信一郎, 小柳憲司, 綿井友美, 柳本嘉時, 吉田誠司, 鈴木雄一, 呉宗憲, 村上佳津美: 思春期の学校健診~大人が知らない 子どもの心とからだ~. 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.12 (久留米Web)
8. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 発達障害の要支援度評価尺度の当院における実状と課題. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4~11.15 (オンデマンド配信)

9. 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗. 親子で取り組む睡眠障害予防・教育介入アプリの試み. 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.4～11.15 (オンデマンド配信)

-3. 記念誌、新聞、テレビ、ラジオ

1. 永光信一郎. 子どもと親のためのヒーロー図鑑～こころを支えてくれるヒーローたち～(親子の心のHEROES) NHK ニュース 2020.10.14 18:10
2. 永光信一郎. 子どもと親のためのヒーロー図鑑～こころを支えてくれるヒーローたち～(親子の心のHEROES) 西日本新聞(筑後版・朝刊) 2020.10.8
3. 永光信一郎. 「アプリで病気を治療」始まる～こころと行動を支えるアプリ(中・高校生向け「むぎまる」) 朝日新聞全国版折込(be) 2020.12.12

5. 研究費・受賞

1. 永光信一郎. 日本医療研究開発費(AMED)(継続)成育疾患克服等総合研究事業(主任研究者 永光信一郎)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」437万円(代表)
2. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費(新規)成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(主任研究者 山縣然太郎)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究(19DA1003)」60万円(分担)
3. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費(継続)成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(主任研究者 岡明)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」100万円(分担)
4. 永光信一郎. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(継続)「アクティブラーニングによる親子コミュニケーション促進アプリの開発」182万円(代表)
5. 石井隆大. 文部科学省研究費 基盤研究(若手)(継続)「ICTを活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発」128万(代表)

—受賞—

1. Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, Matsuoka M, Iguchi T, Okada A, Sakuta R, Inoue T, Otani R, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Tsurumaru Y, Ishii R, Kakuma T and Yamashita Y. Validation of a childhood eating disorder outcome scale. BioPsychoSocial Medicine (2019) 13:21 第18回 日本心身医学会 池見賞受賞演題 2020.6
2. 永光信一郎/久留米工業高等専門学校. 第9回健康寿命をのばそう!アワード 「子どもと親のためのヒーロー図鑑～こころを支えてくれるヒーローたち～(親子の心のHEROES)」子ども家庭局長賞 団体部門 優良賞 2020.11.30 10:00～11:30 厚生労働省(オンライン)

—班会議—

<永光信一郎>

1. 永光信一郎, 村上佳津美, 作田亮一, 土生川千珠. 令和元年度厚生労働省科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」班 個別班会議(代表 永光信一郎) 2020.1.11 東京
2. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働省科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」班 第2回班会議(代表 永光信一郎) 2020.1.29 東京

3. 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究」班「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ(代表 山縣然太郎) 2020.5.18 17:00-18:00 Web会議
4. 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」(代表 岡明) 2020.6.28 10:00-12:00 Web会議
5. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第1回班会議(代表 永光信一郎) 2020.6.28 13:30-15:30 Web会議
6. 永光信一郎, 岡田あゆみ. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議(代表 永光信一郎) 2020.6.29 19:30-20:10 Web会議
7. 永光信一郎, ライツービッツ 片山崇 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議(代表 永光信一郎) 2020.7.17 10:00- Web会議
8. 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究」班「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ(代表 山縣然太郎) 2020.7.27 18:00-21:00 Web会議
9. 永光信一郎, 稲光毅. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」個別班会議(代表 岡明) 2020.10.18(福岡)
10. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議(代表 永光信一郎) 2020.10.14 20:00-21:10 Web会議
11. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議(代表 永光信一郎) 2020.11.26 20:00-22:10 Web会議
12. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」AMED PSPO合同班会議(代表 永光信一郎) 2020.12.7 17:00-19:00 Web会議
13. 永光信一郎. 令和2年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」健診班班会議(代表 永光信一郎) 2020.12.17 20:00-22:10 Web会議

小児救急

論文

1. 上杉達, 長井孝二郎, 山下裕史朗. 心肺停止蘇生後に虚血性大腸炎による結腸狭窄をきたした1乳児例. 日本小児救急医学会雑誌 2021; 20 (1): 48-51

学会・研究会

1. 長井孝二郎, 重症心身障害児(者)の主要症状. 久留米市立特別支援学校校内研修会 2020.11.9 (久留米)

高次脳疾患研究所

芳野信

1. Hatamochi A, Hamada T, Yoshino M, Hashimoto T: The first Japanese case of the arthrochalasia type of Ehlers-Danlos syndrome with COL1A2 gene mutation. *Gene*. 2014; 538:199-203.
2. Shintaku H, Ohura T, Takayanagi M, Kure S, Owada M, Matsubara Y, Yoshino M, Okano Y, Ito T, Okuyama T, Nakamura K, Matuo M, Endo F and Ida H: Guide for diagnosis and treatment of hyperphenylalaninemia. *Pediatr Int*. 2021; 63(1): 8-12, <https://doi.org/10.1111/ped.14399> First published: 10 January 2021
3. Yokoi K, Nakajima Y, Shinkai Y, Yasui T, Yoshino M, Yoshikawa T, Ito T, Hiroki Kurahashi H: Novel ARG1 variants identified in an arginase 1 deficient patient *Human Genome Variation*, in press.

高橋知之

英語論文：

1. *Mitsui K., *Takahashi T., Ide K., Matsuda E., Kosai K.
Optimization of Adenoviral Gene Transfer in Human Pluripotent Stem Cells. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 541, 78-83 (2021)
(*These authors were equally contributed to this work.)
2. Saikusa T, Kawaguchi M, Tanioka T, Nabatame S, Takahashi S, Yuge K, Nagamitsu S, Takahashi T, Yamashita Y, Kobayashi Y, Hirayama C, Kakuma T, Matsuishi T, Itoh M.
Meaningful word acquisition is associated with walking ability over 10 years in Rett syndrome. *Brain Dev* 42(10): 705-712 (2020)

科学研究費：

1. レット症候群における睡眠障害の病態解明と治療—睡眠・覚醒制御システムの役割—
(基盤研究C 令和2-5年度：91+130+104+104万円 研究代表者：高橋知之)
2. 弓削康太郎、松石豊次郎、高橋知之、角間辰之
医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—
(AMED 革新的医療シーズ実用化研究事業 若手研究プロトコル 令和2年度：開発分担者 5万円)

CPT

酒井さやか

1. 論文

1. Sayaka S, Shinichiro N, Hidenobu K, Hiroshi K, Yuki O, Zentaro Y, Yushiro Y. Characteristics of socially high-risk pregnant women and children's outcomes. Pediatrics international, 2020; 62: 140-145.

2. 著者

1. 酒井さやか、永光信一郎 久留米市における社会的ハイリスク妊産婦と出生児に関する研究 厚生労働省科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究 令和1年度 総括・分担研究報告書 155-161

3. 講演

—シンポジウム—

1. 酒井さやか 社会的ハイリスク妊婦とその出生児の抱える問題 —小児科医としての役割— 第38回日本小児心身医学会学術集会 2020.9.11 (久留米web)
2. 酒井さやか 社会的ハイリスク妊婦とその出生児の抱える問題 第67回日本小児保健協会学術集会 2020.11.5 (久留米web)

4. 研究費

1. 酒井さやか. 文部科学省研究費 若手研究(新規) 「児童虐待予防に向けた地域母子保健連携の戦略モデルに関する研究」114万円

—班会議—

1. 酒井さやか, 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究」班 「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ(代表 山縣然太郎) 2020.1.17 18:00-20:00 東京
2. 酒井さやか, 永光信一郎. 令和2年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究」班 「利活用実践ガイドライン」作成に関する打ち合わせ(代表 山縣然太郎) 2020.5.18 17:00-18:00 Web会議

関連病院業績

麻生飯塚病院

—論文—

1. Iwahashi-Odano M, Nagasaki K, Fukami M, Nishioka J, Yatsuga S, Asakura Y, Adachi M, Muroya K, Hasegawa T, Narumi S. Congenital Hypothyroidism Due to Truncating PAX8 Mutations: A Case Series and Molecular Function Studies. The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 2020. Nov. 1. 105. 11
2. Kamura T, Tanaka Y, Tsumura N, Ohya T, Okamatsu Y. Yersinia pseudotuberculosis infection Complicated with Bacteremia in a 10-Month-Old Boy. Case Reports in Pediatrics 2020. 2020. Nov. 27. Published online

—著書—

1. 田中祥一郎. おむつかぶれ・カンジダ皮膚炎. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 106
2. 田中祥一郎. 赤ちゃんの口の中. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 108
3. 田中祥一郎. 赤ちゃんの目やに(鼻涙管閉塞). ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 109
4. 田中祥一郎. 赤ちゃんの鼻づまり. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 110
5. 田中祥一郎. 赤ちゃんの便秘. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 111
6. 田中祥一郎. 赤ちゃんのおへそ. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 113
7. 田中祥一郎. 赤ちゃんのあざ. ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド. 2020.9. 第5版. 114

—講演・シンポジウム—

1. 岡松由記. 施設における食物アレルギー児と保護者への支援について. 平成31年度第4回久留米市保育所・幼稚園・認定こども園・届出保育施設 職員合同研修会. 2020.1.31 (久留米市)
2. 田中祥一郎. 小児科医パパの今日から使える子育て&健康ヒント. 飯塚市子育て支援センター合同育児講座. 2020.11.7 (飯塚市)

—学会・研究会演題—

○国内学会

1. 森田啓督. 岡松由記. 10年間の当院、来院時心肺停止(CPAOA)乳児25例のまとめ. 第26回日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会. 2020.8.27-28 (オンライン)
2. 八ッ賀秀一. 海野聡子. 喜多村美幸. 牛嶋規久美. 古賀木綿子. 糖尿病性ケトアシドーシスに高ナトリウム血症を合併した小児の2例: 輸液の選択はどうか?. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020.10.5-16 (オンライン)

○研究会・地方学会

1. 岡松由記. 座長. 第316回筑豊小児科医会勉強会. 2020.7.30 (オンライン)
2. 大矢崇志. 発達障害外来のKaizen～目的をもった受診を促す取り組み～. 第317回筑豊小児科医会勉強会. 2020.8.28 (オンライン)
3. 岡松由記. 座長. 第317回筑豊小児科医会勉強会. 2020.8.28 (オンライン)

4. 岡松由記. 座長. 第318回筑豊小児科医会勉強会. 2020.9.18 (オンライン)
5. ハツ賀秀一. 日常診療に潜む小児内分泌疾患. 第319回筑豊小児科医会勉強会. 2020.10.16 (オンライン)
6. 岡松由記. 座長. 第319回筑豊小児科医会勉強会. 2020.10.16 (オンライン)
7. 岡松由記. 座長. 第321回筑豊小児科医会勉強会. 2020.12.10 (オンライン)
8. 北城恵史郎, 牛嶋規久美, ハツ賀秀一, 岡松由記. Glycogenic hepatopathyの9歳児症例. 第510回日本小児科学会福岡地方会. 2020.12.12 (福岡市)

○その他

1. ハツ賀秀一. 2型糖尿病～小児と成人の違いと治療にフォーカスを当てて～. Exciting Learning Seminar 2020. 2020.10.3 (神戸市)
2. 岡松由記. 座長. Novartis web symposium～小児喘息診療について考える～. 2020.10.15 (オンライン)

大牟田病院

—論文—

1. 島さほ「思春期の繰り返す鼻出血から診断に至った若年性鼻咽腔血管腫の一例」 小児科臨床 第74巻 第4号 (3/22 発行予定)

北九州市立八幡病院

論文

1. Noguch M, Inagaki J. Hemophagocytic lymphohistiocytosis and graft failure following unrelated umbilical cord blood transplantation in children. *Journal of Pediatric Hematology and Oncology* 42(6) ; e440-e444 : 2020
2. Inagaki J, Noguchi M, Fukano R. Prognosis of pediatric patients with anicteric and late-onset sinusoidal obstruction syndrome after hematopoietic stem cell transplantation *Pediatric Blood and Cancer* 67(8) ; Epub ahead of print - : 2020
3. Kawahara Y, Morimoto A, Inagaki J, Koh K, Noguchi M, Goto H, Yoshida N, Cho Y, Kato K, Ogawa A, Hayashi Y, Inoue M, Atsuta Y, Kimura F, Kato M. Unrelated cord blood transplantation with myeloablative conditioning for pediatric acute lymphoblastic leukemia in remission: prognostic factors. *Bone Marrow Transplantation* Epub ahead of print ; - : 2020
4. Fukumasa H, Tsuda M, Ninomiya R, Kobayashi M, Nishiyama K, Ito A, Tasaki Y, Amamoto Y. Parotid gland atrophy after conservative treatment of a post-traumatic parotid fistula in a two-year-old boy. *Int J Pediatr Otorhinolaryngol* Nov ; 138 : 110326 : 2020
5. Fukumasa H, Tanaka C, Kobayashi M, Hayano S, Amamoto M. Nasopharyngeal airway for upper airway obstruction in infectious mononucleosis. *Pediatr int.* May ; 62(5) 642 -643 : 2020
6. Fukumasa H, Tsuji S, Kawamura K, Nishimura N. Upper airway obstruction in an adolescent: Can airway foreign bodies be missed without self-reporting? *Respir Med Case Rep* 21 ; 29 :101029 2020
7. Haga N, Nakashima Y, Kitoh H, Kamizono J, Katagiri T, Saijo H, Tsukamoto S, Shinoda Y, Sawada R, Nakahara Y. Fibrodysplasia progressiva: Review and research activities in Japan. *Pediatr Int.* 2020 Jan;62(1):3-13.

8. 福政宏司, 西山和孝. コロナ窩における小児救急受診者数の現状. 日本小児救急医学会雑誌. 19 ; 357-359 : 2020
9. 芳賀信彦, 中島康晴, 鬼頭浩史, 片桐岳信, 神藺淳司, 西條英人. 進行性骨化性線維異形成症に関する臨床研究. 脊椎脊髄ジャーナル 33(2) ; 145-150 : 2020
10. 早野駿佑, 天本正乃, 高野健一, 神藺淳司, 山下由理子, 友納優子. 積極的な治療介入を行い予後良好な経過を辿った急性壊死性脳症. 日本小児救急医学会雑誌 19(1) ; 60-64 : 2020
11. 木下正和, 小野友輔, 高野健一, 神藺淳司. 腸重積症に対する超音波下整復134件の報告 施設導入後の治療成績と整復圧・整復時間の変遷. 日本小児救急医学会雑誌. 19(3) ; 260-264 : 2020.11
12. 神藺淳司. 児童虐待の救急診療で注意すべき点 小児科の視点から. 児童虐待を学ぶ. 救急医学 44(11) ; 1388-1394 : 2020
13. 神藺淳司. 子ども虐待と求められる診療姿勢. 小児口腔外科 30(2): 88-89, 2020.

著書

1. 松石登志哉, 神藺淳司. 中心静脈路確保. 小児科専攻医必携 専門検査・治療実施マニュアル. 小児科. 61(8) ; 1043-1049 : 2020
2. 小野友輔. 骨・関節をエコーで診る. 治療. 南山堂. 452-45 : 2020
3. 岡畠祥憲. 小児の上気道閉塞 あなたはどう観る. prehospital care -東京法令出版 2020

講演・シンポジウム

1. 神藺淳司. ERで遭遇する未診断の重篤疾患を見逃さないために！歩き方が変です！. 第123回日本小児科学会学術集会 分野別シンポジウム6
2. 小野友輔. 心の触診 with エコー. 第八回日本小児診療他職種研究会
3. 神藺淳司. 本格化する“子どもの死”の検証制度と医療機関の準備. 第563回北九州地区小児科医会例会.
4. 小野友輔. 治療につなげるエコー：小児ならではの？の消化管エコー. 第30回 日本超音波医学会 九州地方学術集会 特別企画
5. 神藺淳司. 保育士・幼稚園教諭のための子ども虐待対応エッセンス. 児童虐待対応力向上のための研修会
6. 神藺淳司. 子ども環境医学と小児救急 外傷診療と子ども虐待医学. 小児医療に伴う症状緩和を考える会
7. 神藺淳司. 小児救急医療からみた環境難民の子どもたち. 香川県医療ネットワーク事業研修
8. 神藺淳司. 虐待診療の質を高める ジャンプ. YAHATA Children's HOPE Meeting. 2020.1
9. 神藺淳司. 子どもの頭部外傷診療と求められる虐待危急対応. 久留米大学小児科 GR
10. 神藺淳司. ケースシナリオで学ぶ 子ども虐待危急対応. 公立豊岡病院組合立豊岡病院院内講習会
11. 神藺淳司. 地域で支えよう子ども虐待～詳細な事例検証にチャレンジ～ 公立豊岡病院組合立豊岡病院院内講習会
12. 神藺淳司. 成長発育系における医科歯科連携教育・臨床への取り組み 北九州市立八幡病院での歯学生教育

研修報告. 第10回九州歯科大学ファカルティディベロップメント (FD) 報告会

13. 神藺淳司. 子ども虐待と口腔環境 ネグレクトを見逃さない診療. 第3回口唇口蓋裂症例検討会.
14. 小野友輔. 救急隊が明日から使える小児医療の Tips. 八代地域在宅医療北部サポートセンター
15. 小野友輔. 小児臨床超音波とは?. 八幡病院小児科夏祭り.
16. 小野友輔. 超音波で治療!?. 八幡病院小児科夏祭り.
17. 小野友輔. 小児超音波のミライ. 八幡病院小児科夏祭り.
18. 小野友輔. どんなときでも、まえをみて、すすみつづける. 第15回 小児救急ワークショップ in 北九州
19. 小野友輔. 小児臨床超音波 殿堂症例と秘訣. 第10回 茨城こども ECHO セミナール.
20. 天本正乃. 働き続けてもらうために必要なこと. 北九州市医師会 男女共同参画研修会.
21. 神藺淳司. 子ども環境と命について 虐待診療と臓器移植医療. 赤崎市民センター講演.
22. 神藺淳司. ケースシナリオで学ぶ発達 子ども予防可能な事故と虐待ネグレクト. ほっと子育てふれあいセンター 後期基本研修 第2回身体と発達と病気.
23. 神藺淳司. 地域で考えよう 子どものため安全環境作り. ～保育士のための虐待対応ワークショップ～
24. 神藺淳司. 児童虐待防止・早期発見 医療機関につなぐ重要なポイントを学ぶ. 第90回子育てを考える会 子ども虐待医学・最前線2020.
25. 神藺淳司. 過去は取り戻せるのか 逆境的小児期体験の科学. 児童虐待関連連続講座.
26. 神藺淳司. 子どものバイタルサインの評価と臨床応用～特に体温上昇、そして心拍数・呼吸数の評価～. 小児救急医学会教育研修セミナー
27. 神藺淳司. 新型コロナウイルス感染症と子ども環境. 北九州市立八見小学校 職員向け研修会.

学会・研究会演題

1. 神藺淳司. 福岡県における乳幼児死亡における死亡診断書と解剖の現状と課題. 第26回日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術学会集
2. 西山和孝. 提供体制整備にむけた障壁を取り除くために. 第48回救急医学会総会
3. 岡島祥憲, 西山和孝, 福政宏司, 小林 匡, 神藺淳司. 当院における小児陰部外傷の検討. 第48回救急医学会総会
4. 松石登志哉, 興梶雅彦, 稲垣二郎, 神園淳司. HLHによる生着不全に対する再移植後HLH再燃の診断にサイトカインプロファイルが有用であったPh+ALLの一例. 第82回日本血液学会
5. 早野駿佑, 井手水紀, 藤崎徹, 松石登志哉, 興梶雅彦, 稲垣二郎, 神藺淳司. 卵巣未熟奇形種に合併した抗NMDA受容体脳炎の治療経験. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会
6. 山鹿友里絵, 神藺淳司, 高野健一, 天本正乃. 頭蓋内外に腫瘍を形成した12歳女兒の一例 第52回日本小児感染症学会総会・学術集会.

7. 落合健太、神菌淳司、高野健一、小野友輔、天本正乃、Streptococcus agalactiae (Group B streptococcus : GBS) 菌血症および骨髄炎に罹患した9歳男児例. 第52回日本小児感染症学会総会・学術集会.
8. 藤崎徹, 松石登志哉, 神菌淳司, 天本正乃, 水落建輝. 慢性再発性多発性骨髄炎を合併した小児クローン病1例. 第20回小児IBD研究会.
9. 神菌淳司. 子ども虐待と求められる診療姿勢. 第32回日本小児口腔外科学会総会・学術集会
10. 神菌淳司. 小児救急における血栓・止血異常への対応. 第13回千葉小児救命集中治療研究会
11. 興梠雅彦, 藤崎徹, 福田祥子, 稲垣二郎, 神菌淳司, 安井昌博, 再発Ph+ALLの女児に対する複数回HLA一致同種末梢血幹細胞移植後に発症した急性間質性肺炎に対するニンテタニブの使用経験. 第26回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会
12. 森吉研輔, 小野佳代, 藤崎徹, 一木邦彦, 天本正乃, 神菌淳司. 低エネルギー頭部外傷による乳児急性硬膜下血腫の診療経験と地域子ども虐待支援体制の整備. 第508回日本小児科学会福岡地方会
13. 井手水紀, 早野駿佑, 小野友輔, 福政宏司, 小林匡, 富田一郎, 岡島祥憲, 西山和孝, 興梠雅彦, 高野健一, 稲垣二郎, 神菌淳司, 天本正乃, 高橋利幸. 早期腫瘍切除を実施した卵巣奇形腫に関連する抗NMDA受容体脳炎の治療経験. 第508回日本小児科学会福岡地方会
14. 二宮涼, 森吉研輔, 高野健一, 神菌淳司, 天本正乃, 金子仁彦, 高橋利幸. 抗MOG抗体陽性大脳皮質性脳炎の13歳女児例. 第508回日本小児科学会福岡地方会
15. 落合健太, 森吉研輔, 八坂龍広, 井手水紀, 早野駿佑, 小野友輔, 福政宏司, 小林匡, 岡島祥憲, 西山和孝, 高野健一, 神菌淳司, 天本正乃. 扁桃摘出術後に摂食障害、重度脱水をきたした11歳女児例. 第510回日本小児科学会福岡地方会
16. 吉田峻, 森吉研輔, 藤崎徹, 一木邦彦, 天本正乃, 神菌淳司, 今福雅子, 井上統夫. 多機関連携で対応した性的虐待事案の検証と課題. 第510回日本小児科学会福岡地方会

聖マリア病院 小児科 令和2年/元年 業績集

令和2年 業績 (2020 1-12月)

論文

1. Sakata K, Kawano G, Suda M, Yokochi T, Yae Y, Imagi T, Akita Y, Ohbu K, Matsuishi T. Determinations of outcomes for acute encephalopathy with reduced subcortical diffusion. *Scient Reports* 2020;10:9134/<https://doi.org/10.1038/s41598-020-66167-7>.
2. Saikusa T, Kawaguchi M, Tanioka T, Nabatame S, Takahashi S, Yuge K, Nagamitsu S, Takahashi T, Yamashita Y, Kobayashi Y, Hirayama C, Kakuma T, Matsuishi T, Itoh M. Meaningful word acquisition is associated with walking ability over 10 years in Rett syndrome. *Brain Dev* 2020;42:705-712.
3. Kunii M, Doi H, Hashiguchi S, Matsuishi T, Sakai Y, Iai M, Okubo M, Nakamura H, takahashi K, Kitazawa Y, Katsumoto A, Takeuchi H, Ishikawa T, Miyake N, Saitsu H, Matsumoto N, Tanaka F. De novo CACNA1G variants in developmental delay and early-onset epileptic encephalopathies. *J Neurol Sci* 2020;17;416:117047. doi:10.1016/j.jns.2020.117047.
4. Nakao T, Takeishi C, Nunoi K, Matsuishi T, Okamura H, Sato Y, Uchizono Y, Mizuno M, Yokobori Y, Shimizu Y. Development of the daily time management scale for use by working people with type 2 diabetes. *Jpn J Nurs Sci* 2020;17(2):e12307. doi: 10.1111/jjns.12307.

5. 松石登志哉, 河野剛, 島さほ, 横地賢興, 秋田幸大, 松石豊次郎, 大部敬三. 胃瘻カテーテル先端バルーン的位置異常により十二指腸閉塞、上部消化管穿孔をきたした小児例. 日本小児救急医学会雑誌 2020;19:1:65-68.
6. 松下美由紀, 河野剛, 横地賢興, 秋田幸大, 大部敬三, 松石豊次郎. 遷延する嘔吐を認めた錯乱型片頭痛の1例. 小児科臨床 2020;73:10:1427-1432.

学会・研究会演題

国内学会

1. 河野剛, 横地賢興, 須田正勇, 今城透, 秋田幸大, 大部敬三, 松石豊次郎. Bight tree appearance を認める脳症における拡散テンソル画像でのFA値と予後の関係. 第62回日本小児神経学会 2020.8.18 (新潟)
2. 松下美由紀, 河野剛, 久保雄太郎, 須田正勇. 初期に可逆性脳梁膨大部病変を認めた難治頻回部分発作重積型急性脳炎の1例. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21 (神戸)
3. 清松光貴. 当院過去20年における、けいれんに関する小児溺水例(変更前:当院過去17年における、けいれんに関する小児溺水例). 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21 (神戸)
4. 真鍋敬宏, 河野剛, 松下美由紀, 横地賢興, 今城透, 日高智子, 足立基, 秋田幸大, 大部敬三, 松石豊次郎. 一過性の神経症状に可逆性脳梁膨大部病変を認めた17例の検討. 第123回日本小児科学会学術集会 2020.8.21 (神戸)
5. 松下美由紀, 横地賢興, 岩谷麻実, 岡松由記, 河野剛, 秋田幸大, 大部敬三. 顔面蒼白を主訴に来院し、貧血が診断の契機となった乳児消化管アレルギーの1例. 第69回日本アレルギー学会学術大会 JSA/WAO JOINT Congress2020 2020.9.17 (京都)

その他

プライマリーケアカンファランス

1. 天野裕太, 阪田健祐, 松下美由紀. 運動中の突然の意識障害で発症し視床梗塞を認めた14歳男児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.7.30 (久留米)
2. 野口晃太郎, 津村直弥. クリークによる溺水3例(10歳、8歳、5歳). 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.7.30 (久留米)
3. 宮崎裕之, 越智悠一, 日高智子. 腸炎と腹膜刺激症状があり卵巣腫瘍捻転を認めた10歳女児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.7.30 (久留米)
4. 松行圭吾, 山内良賢, 加藤健. ベッドと壁の間に転落し心配停止状態で発見された7ヶ月女児とその他の睡眠関連事故4例. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.7.30 (久留米)
5. 小川宗一郎, 徳富謙太郎, 松下美由紀. 体育授業で倒立後に上下肢脱力認め発症した非骨傷性脊髄損傷11歳女児例. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.11.26 (久留米)
6. 松行圭吾, 加藤健. ビタミンK欠乏による凝固障害から頭蓋内出血を認めた2ヶ月男児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.11.26 (久留米)
7. 當山清士郎, 山下大輔, 越智悠一. 当院に入院したCOVID19小児例のまとめ. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.11.26 (久留米)
8. 松元健太郎, 阪田健祐. 周期的に3時間以内の上下肢麻痺を認めた11歳女児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2020.11.26 (久留米)

テレビ出演

1. 松石豊次郎, かんさい情報ネットten. 女の子の難病レット症候群 第2章 2020.8.13放送 読売テレビ
2. 松石豊次郎, ドキュメンタリー番組 NNNドキュメント'20. パパって呼んで. ~女の子の難病 レット症候群に薬を~ 2020.9.27 日本テレビ系

令和元年 業績 (2019 1-12月)

論文

1. Yae Y, Kawano G, Yokochi T, Imagi T, Akita Y, Ohbu K, Matsuishi T. Fulminant acute disseminated encephalomyelitis in children. *Brain Dev* 2019 ;41: 373-377.
2. Imagi T, Matsushita T, Matsushita M, Yae Y, Yokochi T, Kawano G, Akita Y, Ohbu K, Matsuishi T, Brain stem infarction in a 6-year-old boy with Down syndrome. *Brain Dev* 2019;41: 555-558.
3. Iwama K, Mizuguchi T, Takeshita E, Nakagawa E, Okazaki T, Nomura Y, Iijima Y, Kajiura I, Sugai K, Saito T, Sasaki M, Yuge K, Saikusa T, Okamoto N, Takahashi T, Amamoto M, Tomita I, Kumada S, Anzai Y, Hoshino K, Fattal-Valevski A, Shiroma N, Ohfu M, Moroto M, Tanda K, Nakagawa T, Sakakibara T, Nabatame S, Matsuo M, Yamamoto A, Yukishita S, Inoue K, Waga C, Nakamura Y, Watanabe S, Ohba C, Sengoku T, Fujita A, Mitsuhashi S, Miyatake S, Takata A, Miyake N, Ogata K, Ito S, Saito H, Matsuishi T, Goto Y, Matsumoto N. Genetic landscape of Rett syndrome-like phenotypes revealed by whole exome sequencing. *J Med Genet* 2019;56:396-407.
4. 山内良賢, 横地賢興, 井上忠, 松石登志哉, 松下美由紀, 河野剛, 秋田幸大, 大部敬三, 松石豊次郎. エコーウイルス25による出血性ショック脳症症候群の1例. *小児科臨床* 2019;72(6):771-776.

著書

1. 河野剛. 小児救急治療ガイドライン第4版. 市川光太郎, 天本正乃 編. II. 主要徴候 D. 意識障害. 2019:61-68.

講演・シンポジウム・ワークショップ

1. 河野剛. 抜群の基礎的実績を持つキセノンガス (Xe) はなぜ臨床試験で失敗したのか. シンポジウム6:なぜ研究者が提唱する脳保護療法は臨床応用されないのか. 第61回日本小児神経学会学術集会. 2019.5.31 - 6.2 (名古屋)
2. 織本健司, 松石豊次郎, 弓月康太郎, 堀家慎一, 目黒牧子. 言語保持型レット症候患者の全エクソンシーケンズのトリオ解析. 第42回日本分子生物学会. 2019. 1.23 (福岡)

学会・研究会演題

国際学会

1. Yuge K, Yae Y, Iooka A, Ishii R, Nagamitsu S, Iwama K, Matsumoto N, Matsuishi T, Yamashita Y. A novel *USP8* mutation causes Rett syndrome-like phenotypes in a Japanese boy. 15th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology 2019.09.22 (Kuala Lumpur)
2. Iooka A, Yuge K, Yae Y, Takahashi T, Matsuishi T, Yamashita Y. Questionnaire survey on fractures in patients with Rett syndrome. 15th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology 2019.09.22(Kuala Lumpur)

国内学会

1. 織本健司, 松石豊次郎, 弓月康太郎, 堀家慎一, 目黒牧子. CRISPR/Cas9システムを用いたレット症候群患者由来変異MECP2ノックイン細胞株の樹立. 第18回日本再生医療学会総会 2019.3.22 (神戸)

2. 平野貴博, 八戸由佳子, 松下美由紀, 横地賢興, 今城透, 河野剛, 秋田幸大, 松石豊次郎, 大部敬三. Refeeding症候群を来したネグレクトによる慢性低栄養状態の2歳女児. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-22 (金沢)
3. 織本健司, 松石豊次郎, 弓月康太郎, 堀家慎一. 言語能力保持型レット症候群に対するアリピプラゾールの言語情動機能改善効果. 第116回日本内科学会講演会 2019.4.26 (名古屋)
4. Orimoto K, Matsuishi T, Yuge K, Horike S, Meguro M. Aripiprazole improves verbal and emotional functions in a patient with the preserved speech variant of Rett syndrome: The basic relationship between language and emotion. 第60回日本神経学会学術大会 2019.5.23 (大阪)
5. 須田正勇, 河野剛, 阪田健祐, 横地賢興, 松石豊次郎, 高橋利幸, 多屋馨子. 2クール免疫グロブリン大量療法が有効であった急性弛緩性脊髄炎の1例. 第61回日本小児神経学会学術集会 2019.5.31 (名古屋)
6. 阪田健祐, 河野剛, 横地賢興, 今城透, 秋田幸大, 大部敬三, 松石豊次郎. 頭部MRI上、bright tree appearance を認めた急性脳症34例の予後への関連因子. 第61回日本小児神経学会学術集会 2019.5.31 (名古屋)
7. 國井美紗子, 土井宏, 橋口俊太, 大久保正紀, 竹内英之, 松石豊次郎, 酒井康成, 井合瑞江, 石川太郎, 三宅紀子, 才津浩智, 本直通, 中章景. 小児神経発達障害で同定されたCACNA1G変異におけるチャネル機能の検討. 第42回日本神経科学大会学術集会 2019.7.26 (新潟)
8. Iwama K, Mizuguchi T, Takeshita E, Sasaki M, Sengoku T, Fujita A, Mitsunashi S, Miyatake S, Takata A, Miyake N, Ogata K, Ito S, Saitsu H, Matsuishi T, Goto Y, Matsumoto N. Genetic landscape of Rett syndrome-like phenotypes revealed by whole exome sequencing. 第64回日本人類遺伝学 2019.11.8 (長崎)
9. 織本健司, 松石豊次郎, 弓月康太郎, 堀家慎一, 目黒牧子. 言語保持型レット症候患者の全エクソンシーケンスのトリオ解析. 第42回日本分子生物学会 2019.12.4 (福岡)

研究会・学会地方会

1. 織本健司, 松石豊次郎, 弓月康太郎, 堀家慎一, 目黒牧子. 遺伝子編集技術を用いたRett症候群の治療薬の開発. 第2回日本再生医療学会テクノオークション2019.3.22 (神戸)
2. 織本健司, 松石豊次郎, 弓削康太郎, 堀家慎一, 目黒牧子. 言語保持型レット症候群患者の全エクソンシーケンスのトリオ解析. 第13回日本エピジェネティクス研究会年会 2019.5.28 (横浜)
3. 松石豊次郎, 弓削康太郎, 織本健司, 高橋和之, 池田恭. レット症候群のジストニアにグレリンは有効か? 多施設共同研究を目指した評価指標の検討と問題点. 大脳基底核研究会 2019.8.24 (米子)
4. 清松光貴, 河野剛. 小児救急病院におけるてんかん治療について「けいれん、てんかんに関連する小児溺水」. 筑後の郷てんかんを語る会 2019.9.5 (久留米)

その他

1. 矢野庄一郎, 松下美由紀. 発熱、下痢を伴い重症脱水、ショック状態となった食物蛋白誘発胃腸炎2か月女児. 第281回プライマリーケアカンファレンス 2019.3.28 (久留米)
2. 松本美佐, 木村拓郎, 松石登志哉. Stevens Johnson 症候群を認めた5歳男児. 第281回プライマリーケアカンファレンス 2019.3.28 (久留米)
3. 宮城慎平, 須田正勇. 上気道炎罹患後に急に右下肢脱力を認めた急性弛緩性脊髄炎1歳女児例. 第281回プライマリーケアカンファレンス 2019.3.28 (久留米)

4. 柳瀬海騎, 日吉祐介. 緩徐に進行する片麻痺で発症した脳幹部腫瘍5歳男児例. 第281回プライマリーケアカンファランス 2019.3.28 (久留米)
5. 安楽光咲, 久保雄太郎, 松下美由紀. 病初期に脳梁膨大部病変を認めた難治頻回部分発作重積型急性脳炎の12歳男児. 第282回プライマリーケアカンファランス2019.7.25 (久留米)
6. 安楽光咲, 久保雄太郎, 松下美由紀. 自己免疫性脳炎、ヘルペス脳炎、脳腫瘍の鑑別を要した6歳女児例. 第282回プライマリーケアカンファランス2019.7.25 (久留米)
7. 大武瑞樹, 清松光貴, 三浦真理子. 心筋炎と考えられたが保存的治療で改善した1歳女児. 第282回プライマリーケアカンファランス 2019.7.25 (久留米)
8. 田中友規, 中村美和子, 日吉祐介. 盲腸軸捻転を認めた6歳男児. 第282回プライマリーケアカンファランス 2019.7.25 (久留米)
9. 田中航, 河野剛, 久保雄太郎, 清松光貴, 後藤康平, 山内良賢, 中村美和子, 三浦真理子, 日吉祐介, 松下美由紀, 須田正勇, 横地賢興, 今城透, 日高智子, 足立基, 秋田幸大, 松石豊次郎, 大部敬三. クリークでの溺水により死亡した自閉症スペクトラム障害児2例. 第506回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.10.12 (福岡)
10. 遠藤秀生, 山内良賢, 須田正勇. 1か月間発熱が持続し抗MOG抗体関連脳髄膜炎と診断した14歳女児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2019.11.28 (久留米)
11. 高木健太, 清松光貴, 三宅淳. 胆道閉鎖症による凝固障害から頭蓋内出血を認めた3か月女児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2019.11.28 (久留米)
12. 山下哲矢, 久保雄太郎, 中村舞. パレコウイルス感染に伴い発熱、けいれんを認めた1か月男児. 第283回プライマリーケアカンファランス 2019.11.28 (久留米)
13. 津村直弥, 後藤康平, 松下美由紀. 慢性湿疹、外耳炎を認め、最終的にランゲルハンス組織球症と診断された5か月女児. 第283回 プライマリーケアカンファランス 2019.11.28 (久留米)

同門業績

橋本武夫

講演

1. 橋本武夫. 母乳育児と断乳・卒乳. 一般社団法人ママズケア・講演会. 2020.1.20 西宮市民会館
2. 橋本武夫. よく使われる育児言葉の誤解. 島岡医院橋本教室. 2020.1.21 京都市島岡医院
3. 橋本武夫. 福祉と地域の絆. 基里地区福祉後援会. 2020.1.28 鳥栖市基里街づくり推進センター
4. 橋本武夫. 多胎児への保育園での支援について～保育士に求められるもの～. しんとすげんき保育園職員スキルアップ講演会. 2020.2.15 しんとすげんき保育園
5. 橋本武夫. 新型コロナウイルスとその対応～基本的感染防止のために～. 島岡医院橋本教室. 2020.2.18 京都市島岡医院
6. 橋本武夫. 子育て不安と実践育児学. 新潟市新津子育てサロン子育て講座. 2020.2.22 新津森のサロン子育て支援センター
7. 橋本武夫. 今、子どもたちにおきている現状と支援. 福島県主催東日本大震災支援者研修会. 2020.2.22 新潟市新津健康センター
8. 橋本武夫. エモーショナルサポートとは?. 第37期産前産後サポーター協会認定講座. 2020.3.23 小郡市産前産後サポートセンター心ゆるり
9. 橋本武夫. 母乳育児とエモーショナルサポート. 第38期産前産後サポーター協会認定講座. 2020.6.23 小郡市産前産後サポートセンター心ゆるり
10. 橋本武夫. 母乳育児とエモーショナルサポート. 第39期産前産後サポーター協会認定講座. 2020.7.13 小郡市産前産後サポートセンター心ゆるり
11. 橋本武夫. 医師が伝える母乳育児. 一般社団法人ママズケア育児講座. 2020.7.24 福岡市、アクロス福岡
12. 橋本武夫. デベロップメンタルケア. 聖マリア学院大学看護学科特別講義. 2020.8.7 聖マリア学院大学
13. 橋本武夫. 胎内から乳児期の生理と免疫、感染症. 公益財団法人総合健康推進財団主催. 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会 2020.9.26 小城市・ゆめぷらっと小城
14. 橋本武夫. ウイルス・細菌感染症と血液を介した感染症. 公益財団法人総合健康推進財団主催 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会. 2020.9.26 小城市・ゆめぷらっと小城
15. 橋本武夫. 乳幼児の安全環境と救急の対応. 公益財団法人総合健康推進財団主催 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会. 2020.9.27 小城市・ゆめぷらっと小城
16. 橋本武夫. 最近話題の問題～SIDS・児童虐待・熱中症・アレルギー～. 公益財団法人総合健康推進財団主催 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会 2020.9.27 小城市・ゆめぷらっと小城
17. 橋本武夫. 新生児医療と療育に寄り添って～これからの助産師への願い～. 聖マリア学院大学助産師科特別講義. 2020.9.28. 聖マリア学院大学

18. 橋本武夫. タッチケアの概念とその実践. 純真学園大学看護学科特別講義. 2020.10.8 福岡市、純真学園大学
19. 橋本武夫. 胎内から乳児期の生理と免疫、感染症. 公益財団法人総合健康推進財団主催 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会. 2020.10.15 佐賀市アバンセ
20. 橋本武夫. ウイルス・細菌感染症と血液を介した感染症. 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会 2020.10.15 佐賀市アバンセ
21. 橋本武夫. 乳幼児の安全環境と救急への対応. 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会. 2020.10.16 鳥栖市サンメッセ
22. 橋本武夫. 最近話題の問題～SIDS・児童虐待・熱中症・アレルギー～. 令和2年度佐賀県保育士等キャリアアップ研修会 2020.10.16 鳥栖市サンメッセ
23. 橋本武夫. NICUの流れと医療的支援児の疾患と対応. 令和2年度佐賀県医療的ケア児等コーディネーター養成研修会. 2020.10.28 佐賀県勤労福祉センター
24. 橋本武夫. 療育における在宅医療支援と求められる新しい挑戦. 令和2年度佐賀県医療的ケア児等コーディネーター養成研修会 2020.10.28 佐賀県勤労福祉センター
25. 橋本武夫. 親亡き後の支援、親離れ子離れ. 鳥栖・三養基地区自立支援協議会主催 障害者差別解消支援地域協議会研修会 2020.11.13 鳥栖市民会館小ホール
26. 橋本武夫. タッチケアの始まりと広がり. 第39回日本タッチケア協会指導者認定講習会 2010.11.14 福岡市電気ホール
27. 橋本武夫. タッチケアとエモーショナルサポート. 第39回日本タッチケア協会指導者認定講習会 2010.11.15 福岡市電気ホール
28. 橋本武夫. 医師が伝えるタッチケアとその実践. 一般社団法人ママズケア、子育て支援講演会 2020.11.16 西宮市市民会館
29. 橋本武夫. 小児科医の子育て. 西野美亜阪急デパート子育て講座 2020.11.18 西宮阪急デパート
30. 橋本武夫. 母乳育児の最新情報～補足・過飲・断乳・卒乳ほか～. 一般社団法人ママズケア、母乳育児講座 2020.11.18 西宮市ママズケア&ZOOM発信
31. 橋本武夫. 母乳育児におけるエモーショナルサポートと最新情報. 福岡県助産師会筑紫地区研修会 2020.11.29 小郡市産前産後ケアセンター心ゆるり&ZOOM発信
32. 橋本武夫. 母乳育児とエモーショナルサポート. みやき町社会福祉協議会、ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座 2020.12.8 みやき町コミュニティーセンターこすもす館
33. 橋本武夫. 乳幼児のその他病気と症状.

その他

1. 橋本武夫. 1 胎児の驚くべき生理 2 胎嚢とは？～胎児は何でも知っている～ 3 出生の生理とカンガルーケア 4 なぜおっぱいなのか？～生物学的当為について～ 5 哺乳・授乳の生理～育児の3原則について～ 6 母乳不足感と過飲症候群 7 赤ちゃんの成長と育児不安 8 離乳食(補完食)の進め方 9 卒乳と断乳～おっぱいはいつまで？～ 10 赤ちゃんの虫歯 11 お父さんの育児参加とは？ 12 ちょっと気になる子と発達障害について 佐賀県地域福祉振興基金助成事業 産前産後ケアサロン講座(1/月)

松浦伸郎

(論文)

1. Hideyuki Ikematsu, Naoki Kawai, Naoki Tani, Yong Chong, Norio Iwaki, Takuma Bandoa, Osame Tanaka, Shinro Matsuura, Tetsunari Maeda, Kenichi. Doniwa. Duration of fever and PA/I38X-substituted virus emergence in patients treated with baloxavir in the 2018-2019 influenza season. J Infect Chemother 2020; 26(4): 400-402.

(学会)

1. Hayato Uchida, PhD (Role: First Author) Yoshinori Fujiwara, MD, PhD (Role: Co-Author) Shinro Matsuura, MD, PhD (Role: Co-Author) Social Isolation and Its Related Factors of the Participants in Senior Citizens' College in Japan 2020 GSA Annual Scientific Meeting Nov 4-8 Philadelphia Pennsylvania USA

吉永陽一郎

論文

1. 吉永陽一郎. 個別乳幼児健診・予防接種の工夫とクリニック運営における重要性. 小児内科. Vol.52 No2 207-210 2020 東京医学社

著作

1. 吉永陽一郎. 教えて！ドクター 保育所や幼稚園が始まって流行する感染症、予防とホームケア. Happy-Note. Vol.62 45 2020 ミキハウス子育て総研 2020.3.1
2. 吉永陽一郎. うんちチェックシート&うんちチェック. ひよこクラブ2月号. ベネッセコーポレーション 2020.1.15
3. 吉永陽一郎. 新生児、1か月健診. 今日の小児治療指針 第17版. 728-729. 医学書院. 2020.12.1
4. 吉永陽一郎. 陽ちゃん先生の診察室だより 育児情報サイト「たまひよ」
 - 12、マイコプラズマ 2020. 1.15
 - 13、ウイルス性胃腸炎 2020. 2.15
 - 14、新型コロナウイルス感染症 2020. 3.15
 - 15、うんちトラブル 2020. 4.15
 - 16、自家中毒という考え方 2020. 5.15
 - 17、毛虫皮膚炎 2020. 5.31
 - 18、水分補給 2020. 6.15
 - 19、熱中症 2020. 7.15
 - 20、ロタウイルスワクチン 2020. 8.15
 - 21、予防接種の接種間隔 2020. 9.15
 - 22、腸重積 2020.10.15
 - 23、中耳炎 2020.11.15
 - 24、解熱剤1 2020.12.15

講演

1. 吉永陽一郎. タッチケアの基礎と手技. タッチケア指導者講習会. 2020.11.14. 福岡市
2. 吉永陽一郎. スキンシップの大切さとスキンケア. ベビカム オンライン両親学級. 2020.11.15. 東京よりライブ配信

WEB配信

1. 吉永陽一郎. コロナ禍でのタッチケア指導のありかた. 日本タッチケア協会WEB講習. 2020.9.24

放送

1. 吉永陽一郎. 新型コロナウイルス感染とBCG. NBCラジオ「ザ・チャージ」. 2020.4.22
2. 吉永陽一郎. ヘルパンギーナと夏風邪. NBCラジオ「ザ・チャージ」. 2020.8.26

津村直幹

著書

1. 田中悠平、津村直幹：急性咽頭・扁桃炎—フソバクテリウムの治療を含めて. 小児内科 52：1398-1402, 2020

総説・その他

1. 津村直幹：学校感染症と予防接種. 八女筑後医報 No.401 令和2年6月号p 12-17
2. 津村直幹：異なるワクチンの接種間隔の変更とロタウイルスワクチンの定期接種化. 八女筑後医報 No.403 令和2年11月号p 4-8

教育セミナー、その他

1. 津村直幹：インフルエンザ症例に対するバロキサピルの有効性・安全性 ～2018/19と2019/20シーズンの実臨床での評価. ランチョンセミナー. 第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会、第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会、第68回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催. 2020.11.6 (福岡)

講演会

1. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 備後インフルエンザセミナー. 2020.1.16 (福山)
2. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. Influenza Forum. 2020.1.23 (那覇)
3. 津村直幹：インフルエンザに対するゾフルーザの実臨床での評価～2018/19シーズンのインフルエンザ小児に対するゾフルーザの使用経験から～. Influenza Web Conference. 2020.1.30 (久留米)
4. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 学術講演会. 2020.2.6 (長崎)
5. 津村直幹：学校感染症と予防接種. 八女筑後医師会予防接種講演会. 2020.2.27 (八女)
6. 津村直幹：インフルエンザ症例に対するバロキサピルの有効性・安全性～2018/19と2019/20シーズンの比較及び家族内の感染者への投与～. Influenza Expert Seminar Lecture 2. 2020.8.29 (大阪)
7. 津村直幹：ワクチン接種の意義について～ロタウイルスワクチンを中心に～. MSD社内学術講演会. 2020.9.3 (久留米)
8. 津村直幹：ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学と定期接種となるロタウイルスワクチンの有効性・安全性. ワクチンOnlineセミナー. 2020.9.15 (久留米)
9. 津村直幹：異なるワクチンの接種間隔の変更とロタウイルスワクチンの定期接種化. 八女筑後医師会予防接種講演会. 2020.9.24 (八女)
10. 津村直幹：予防接種最新情報2020～新しく定期接種となるロタウイルスワクチンとワクチンの接種間隔の変更を含めて～. 令和2年度宮崎県医師会園医部会研修会. 2020.10.1 (宮崎)
11. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 県北小児科医会学術講演会. 20小児科医会 20.10.8 (佐世保)
12. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 甲賀湖南医師会学術講演会. 2020.10.31 (甲賀)

13. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 熊本県小児科医会学術講演会. 2020.11.12 (久留米 web)
14. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 聖マリア病院地域医療支援講演会. 2020.11.17 (久留米 web)
15. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 宗像小児科医会学術講演会. 2020.11.19 (宗像)
16. 津村直幹：ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学とロタウイルスワクチンの有効性・安全性そして接種の実際. 中野区医師会予防接種講演会. 2020.11.20 (久留米 web)
17. 津村直幹：最新の予防接種の話題. 田辺三菱製薬社内勉強会. 2020.11.24 (久留米)
18. 津村直幹：ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学とロタウイルスワクチンの有効性・安全性そして接種の実際. 大分市小児科医会学術講演会. 2020.11.25 (久留米 web)
19. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 島根県東部小児科医会. 2020.11.26 (久留米 web)
20. 津村直幹：ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学とロタウイルスワクチンの有効性・安全性そして接種の実際. 第15回奈良ワクチン研究会. 2020.11.28 (久留米 web)
21. 津村直幹：インフルエンザ診療の最前線. 高槻市薬剤師会ナイト研修会. 2020.12.15 (久留米 web)

中村秀文

【論文】

1. Davis JM, Baer GR, McCune S, Klein A, Sato J, Fabbri L, Mangili A, Short MA, Tansey S, Mangum B, Hokuto I, Nakamura H, Salaets T, Allegaert K, Yao L, Blum M, Toerner J, Turner M, Portman R; International Neonatal Consortium. Standardizing Safety Assessment and Reporting for Neonatal Clinical Trials. *J Pediatr.* 2020 Apr;219:243-249.e1. doi: 10.1016/j.jpeds.2019.09.060. Epub 2019 Nov 8.
2. Okada N, Sasaki A, Saito J, Mitani Y, Yachie A, Takahashi H, Matsubara S, Tenkumo C, Tanaka H, Hata T, Motomura K, Nagasawa J, Wada Y, Sako M, Yamaguchi K, Matsumoto K, Nakamura H, Sago H, Mizuta K. The Japanese experience and pharmacokinetics of antenatal maternal high-dose immunoglobulin treatment as a prophylaxis for neonatal hemochromatosis in siblings. *J Matern Fetal Neonatal Med.* 2020 Jan;33(1):142-148. doi: 10.1080/14767058.2018.1487940. Epub 2018 Jul 22.
3. Saito J, Shoji K, Oho Y, Aoki S, Matsumoto S, Yoshida M, Nakamura H, Kaneko Y, Hayashi T, Yamatani A, Capparelli E, Miyairi I. Meropenem pharmacokinetics during extracorporeal membrane oxygenation and continuous hemodialysis: A case report. *J Glob Antimicrob Resist.* 2020 May 14:S2213-7165(20)30120-X. doi: 10.1016/j.jgar.2020.04.029. Online ahead of print.

【著書・総説】

1. 中村秀文. 新生児薬物治療で考慮すべき特殊性. 増刊号 周産期の薬. *周産期医学* 2020; 50: 298-301.
2. 中村秀文. 日本における小児医薬品開発・評価のオーバービュー. *日本小児臨床薬理学会雑誌* 2020; 32:147-151.
3. 中村秀文. 国内外における小児医薬品開発推進への取り組み—アカデミアの視点から—. *薬理と治療.* 2020; 48(12): 2055-2058.

杉村 徹

論文

1. 杉村 徹. 小児プライマリ・ケアにおけるリサーチマインド. 小児科診療 2020 ; 83 : 935-939
2. 杉村 徹. 小児科クリニックで研究を行ううえでの問題点. 小児内科 2020 ; 52 : 238-241

学会発表

1. 杉村 徹, 瀬尾智子, 寺崎乃美, 尾崎由希子, 力武典子, 田中聡子, 岡部留美子, 松下優美. 乳児の眼脂に対する母乳点眼の有効性の検証：ランダム化比較試験 第123回日本小児科学会学術集会. : 2020,8.22 (土). 神戸. (オンライン)

牟田広実

1. 論文

—日本語依頼原稿—

1. 牟田広実. 小児科クリニックでしかできない研究. 小児内科 2020;52:233-7
2. 牟田広実. 開業医でもここまでできる臨床研究. 小児科診療 2020;83:927-33

2. 著書

なし

3. 講演・シンポジウム

—国内学会—

1. ワークショップ
野田隆, 牟田広実. With コロナ時代に、どのように子どもたちをタバコから守るか. 第15回日本禁煙科学会学術総会 in 静岡. 2020.12 (静岡)

4. 学会・研究会演題

—国内学会—

1. 荒木薫, 原めぐみ, 青木才一志, 牟田広実, 津川毅. 症例対照研究によるロタウイルスワクチンの有効性評価 2018, 2019 シーズン (遺伝子型別). 第24回日本ワクチン学会学術集会. 2020.12 (オンライン)

5. その他

—ガイドライン—

1. 小児 COVID-19 合同学会ワーキンググループ (日本小児科学会・日本小児感染症学会・日本外来小児科学会). 小児の外来診療におけるコロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) 診療指針 第1版

—書籍—

1. 日本外来小児科学会 (編著). ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド 第5版. 東京: 医歯薬出版, 2020